

10月19日(水) 9:00~10:24 A会場
地震予知(A001~A007)
(講演時間10分・質疑応答2分)
座長 筒井 稔・江原幸雄

9:00	A001	地震前兆電界と人工雑音・雷の電界との弁別	°高橋耕三(元通信総合研)・矢崎 忍(防災科研)・藤縄幸雄(REIC)・Matveev Igor(地物究RAS)
9:12	A002	地殻変動に伴う地中励起電磁波パルスの2点同時観測システムの構築	°筒井稔・前西健志・山田誉人(京産大・工)・藤井直之・奥田隆・山田守(名古屋大院環境)・長尾年恭(東海大・海洋研)
9:24	A003	北海道におけるVHF伝播異常観測網の構築	°森谷武男・茂木透・高田真秀(北大院理)
9:36	A004	z値に関する二三の考察	°井元政二郎(防災科研)
9:48	A005	高知県佐賀町における海水・淡水境界面の観測(続)	°浅田照行・重富國宏・梅田康弘・辰巳賢一(京大防災研)・木村昌三・川谷和夫(高知大理地震観)・大村誠(高知女子大)
10:00	A006	福岡県西方沖地震前後の地下水位・GPS・地震観測結果から見た地震予知の可能性	°江原幸雄・藤光康宏・西島 潤・福岡晃一郎・ウディハルモコ・松本光央(九大工)
10:12	A007	深部地下水上昇による地表面現象 -東海・関東地域の井戸水の突然昇温-	°佃 為成(東大地震研)・上久保廣信(浜松市立神久呂中)

10月19日(水) 10:24~11:36 A会場
月から始める地震学の展開(A008~A013)
(講演時間10分・質疑応答2分)
座長 倉本 圭

10:24	A008*	巨大衝突仮説による月形成シナリオ	°小久保英一郎・武田隆顕(国立天文台)
10:36	A009*	月の内部構造と熱的進化	°倉本圭(北大・理・地惑)
10:48	A010*	月の初期大規模分化と地殻/マントル/核の性質	°奥地拓生(名大環境・地惑)
11:00	A011*	月の同位体化学	°塚本尚義(北大理)
11:12	A012	衝突率不均質と月初期の進化	°諸田智克・春山純一・大竹真紀子・児玉信介(宇宙研)・古本宗充(金沢大)
11:24	A013	月のクレーターサイズ分布と月表層内部構造の関係	°本田親寿(宇宙航空研究開発機構)

10月19日(水) 9:00~11:36 B会場
地殻構造(B001~B013)
(講演時間10分・質疑応答2分)
座長 望月公廣・中島淳一・関根秀太郎

9:00	B001	北海道北部地域の重力・地磁気異常に対するMoving-window Poisson's analysisの適用	°梶原崇憲・茂木透(北大理)・山本明彦(愛媛大理)・大熊茂雄・中塚正(産総研地質情報)
9:12	B002	日高山脈トツタベツ深成岩体の重力異常と貫入形態	°神山 裕幸(北大地震火山セ)・山本 明彦(愛媛大理地球科学)・長谷川 健(北大院地惑)・梶原 崇憲(北大地震火山セ)・茂木透(北大地震火山セ)
9:24	B003	比抵抗構造および重力異常による北海道東部弟子屈地域の内陸地震発生帯の地殻構造	°市原寛・茂木透・神山裕幸・山谷祐介(北大地震火山セ)・小川康雄(東工大火山流体)

9:36	B004	北海道天北地域の深部構造と断層構造－基礎物理探査「天北地域」データの再処理結果－	横倉隆伸・宮崎光旗・加野直巳（産総研地質情報）
------	------	--	-------------------------

9:48	B005	2003年十勝沖地震震源域付近の地震波速度構造探査	° 牧野由美・高波鐵夫・村井芳夫・齊藤市輔・町田祐弥(北大理)・西野実・日野亮太(東北大理)・山田知朗・金沢敏彦(東大地震研)・植平賢司(九大理)・宮町宏樹・平野舟一郎(鹿大理)
10:00	B006	北上山地西縁の地殻構造とインバージョンテクニクス	° 加藤直子・佐藤比呂志(東大地震研)・海野徳仁(東北大理)
10:12	B007	コーダ振幅の減衰から推定される鬼首カルデラ下の低Q域	° 長谷見晶子・石澤真理・三浦英俊(山形大理)・小菅正裕(弘前大理工)・海野徳仁・長谷川昭(東北大理)
10:24	B008	高周波数S波エンベロープ最大振幅到達遅延時間のインバージョン解析から推定された東北日本におけるランダム不均質構造	° 高橋努・佐藤春夫・西村太志(東北大理)・小原一成(防災科研)
10:36	B009	防災科研Hi-netの振幅データを用いた関東地方の詳細なQ構造	° 関根秀太郎・松原誠・小原一成・笠原敬司(防災科研)
10:48	B010	海域屈折法・反射法人工地震による調査茨城県沖地震活動域の地殻構造	° 望月公廣・山田知朗・篠原雅尚・金澤敏彦(東大地震研)
11:00	B011	海陸境界帯統合的地震探査による房総半島南部地殻構造調査 一元禄地震震源断層の解明に向けて-	° 津村紀子・駒田希充・伊藤谷生・佐藤利典・宮内崇裕・藤原明・三沢永一・森智之・丸山友章(千葉大)・河村知徳(東大・地震研)・阿部信太郎(電中研)・宍倉正展・重松紀生(産総研)・浅尾一己(千葉県庁)・須田茂幸・東中基倫・加藤太郎・川中卓・井川猛・小澤岳史(地科研)
11:12	B012	稠密地震観測による南部フォッサマグナの地震波速度構造	° 中道治久(米国地質調査所)・富士山稠密自然地震観測グループ
11:24	B013	中部日本の三次元地震波速度構造 - マントル上昇流と新潟・神戸歪集中帯の深部構造 -	° 中島淳一・長谷川 昭(東北大・院理)

10月19日(水) 9:00~11:36 C会場
地殻変動・GPS・重力(C001~C013)
(講演時間10分・質疑応答2分)
座長 田所敬一・上田英樹・里 嘉千茂

9:00	C001	紀伊半島南東沖地震の震源近傍での海底地殻変動観測	° 田所敬一・生田領野・安藤雅孝・奥田 隆・杉本慎吾・Besana Glenda(名大地震火山セ)・久野正博(三重県科技振興セ)
9:12	C002	駿河湾での海底地殻変動観測	° 杉本慎吾・生田領野・安藤雅孝・田所敬一・奥田隆・BESANA Glenda(名大・院環境)・長尾年恭・佐柳敬造(東海大・海洋研)
9:24	C003	海底地殻変動観測における効率的な観測デザインの提案と展望	° 生田領野・田所敬一・安藤雅孝・奥田隆・杉本慎吾・BESANA Glenda(名古屋大)・久野正博(三重科技振興セ)
9:36	C004	我が国の地殻変動の基本的性質 - 通常の動きと一時的な動き -	° 長澤寛和・木村英雄・武田聖司(日本原子力研究所)
9:48	C005	大地震震源域近傍の詳細な地殻歪み分布とその時間変化(2)	° 西脇 周平・鷺谷 威(名大院環境)
10:00	C006	GPS観測に基づく跡津川断層系周辺の地殻変動 - 二測線の比較から見る断層走向方向の不均質性 -	° 大園 真子・平原 和朗(名大・環境)・細 善信・和田 安男(京大・防災研)・鷺谷 威・安藤雅孝(名大・環境)
10:12	C007	東海スロースリップイベントを原因とする東海・近畿地方の歪速度変化	° 小林知勝・橋本学(京大防災研)
10:24	C008	三宅島の傾斜計で観測された極超長周期振動	° 上田英樹・鶴川元雄・藤田英輔・山本英二(防災科研)

10:36	C009	神岡における3次元気圧観測	°今西祐一・藤内智士(東大海洋研)
10:48	C010	ENVISAT/InSARおよびGEONETによる地殻変動を用いて推定した福岡県西方沖の地震における断層すべり分布	°小澤拓・西村宗・大倉博(防災科研)
11:00	C011	琉球弧から台湾にかけてのGPS速度場とテクトニクス	°瀬川 紘平・橋本 学・小林 知勝(京大防災研)
11:12	C012	地下構造の不均質性が及ぼす地表変位への影響	°里 嘉千茂・皆川直哉(東京学芸大学)・兵藤守・馬場俊孝・金田義行(海洋研究開発機構)
11:24	C013	有限要素法を用いた多孔質媒質中における余効変動インヴァージョン解析	°川元智司・伊藤武男(名大・院環境)・平原和朗(京大・院理)

10月19日(水) 11:45~13:00 A会場

若手学術奨励賞記念講演

(講演時間20分・質疑応答5分)

11:45		地震波形解析による動的破壊過程の研究	井出 哲
12:10		高精度地球内部構造推定手法の開発	竹内 希
12:35		北海道地方を含む北東ユーラシア地域のプレート運動, およびそれに関する巨大地震・火山活動の解明	高橋浩晃

10月19日(水) 14:00~18:24 A会場

月から始める地震学の新展開(A014~A033)

(講演時間10分・質疑応答2分)

座長 久家慶子・白石浩章・村上英記・小林直樹

14:00	A014*	月のトモグラフィ	°趙大鵬・沼川広太・雷建設(愛媛大地球深部)
14:12	A015*	アポロ月震データによる月地殻構造の不均質性	°H.Chenet(JAXA)・P.Lognonne・M.A.Wieczorek(仏国立地球物理学研)・水谷仁(JAXA)
14:24	A016	月震の震源メカニズム	五十嵐陽子・°久家慶子(京大理)
14:36	A017	月震コーダエンベロープ形状モデリング手法の再検討	°竹内 希(東大地震研)
14:48	A018	月震散乱コーダ波の差分法によるシミュレーションの試み	°岡元太郎・小林直樹(東工大)
15:00	A019*	SELENE重力ミッションで期待される月重力場モデルの推定精度	°松本晃治・花田英夫・鶴田誠逸・河野宣之(国立天文台水沢)・岩田隆浩(JAXA)・並木則行(九大)・David ROWLANDS (NASA GSFC)
15:12	A020	月の回転運動から何がわかるか	°花田英夫(国立天文台水沢)
15:24	A021	月熱流量計測の科学的意義	°斎藤靖之(東大/宇宙研)・吉田信介・田中智・藤村彰夫・水谷仁(宇宙研)
15:36	A022	月探査計画LUNAR-Aの現状と技術課題	°白石浩章・田中智・藤村彰夫・水谷仁(宇宙航空研究開発機構)
15:48	A023	月探査用地震計の開発	°山田功夫(名大環境)・藤村彰夫・山田竜平(宇宙研)・LUNAR-Aペネトレータサイエンスチーム
16:00	A024	ペネトレータ搭載用月震計の現状性能	°山田竜平(宇宙研)・山田功夫(名大)・小林直樹(東工大)・村上英記(高知大)・竹内希(東大)・白石浩章・田中智・藤村彰夫(宇宙研)

16:12		休憩	
16:24	A025	月・惑星地震データの取得・圧縮技術—Lunar-Aにおけるケーススタディー	°村上英記(高知大理)・Lunar-Aペネトレータサイエンスチーム
16:36	A026	月と惑星の自由振動	°小林直樹(東工大理)
16:48	A027*	小惑星探査における地震学の利用	°田中智(宇宙研)・小林直樹(東工大理)・矢野創・藤村彰夫(宇宙研)
17:00	A028	火星の常時自由振動	°須田直樹(広島大院理)・西田究(東大地震研)
17:12	A029*	A new catalog of surface faults on Mars and prospects for future seismic observations	°J. Oberst, M. Knapmeyer and T. Spohn(DLR)
17:24	A030*	月常時自由振動の可能性—バックグラウンド重力波による励起	°古本宗充(金沢大自然科学)
17:36	A031*	日本の将来惑星探査	°加藤学(宇宙航空研究開発機構)
17:48	A032	日本の月探査—JAXAの長期ビジョンから—	°藤村彰夫・加藤学(宇宙航空研究開発機構)
18:00	A033*	将来の月・惑星地震探査に期待すること	°中村吉雄(テキサス大地物研)
18:12		総合討論	

10月19日(水) 14:00~18:24 B会場
地殻構造(B014~B034)
(講演時間10分・質疑応答2分)
座長 伊藤武男・飯高 隆・平原和朗・齊藤竜彦

14:00	B014	中部地方における雑微動記録を用いた相互相関解析	°伊藤 武男(名古屋大学)・平原 和朗(京都大学)
14:12	B015	2001年中部・東海屈折広角反射法探査の再解析に基づく歪集中帯下の地殻構造II	°岩崎貴哉・飯高隆・蔵下英司・加藤愛太郎(東大地震研)・小平秀一・金田義行(海洋研究開発機構)
14:24	B016	歪集中帯におけるS波偏向異方性	°岩月晃一・平松良浩(金沢大自然科学)・酒井慎一(東大地震研)・大見士朗(京大防災研)・汐見勝彦(防災科研)
14:36	B017	弾性波アクロスの定常的運用による構造探査と時間変動監視—100km圏内における全方向地下監視—	°國友孝洋・熊澤峰夫(JNC 東濃)
14:48	B018	新宮—舞鶴測線地殻構造探査に基づく地震波反射面とフィリピン海プレート	°伊藤 潔・廣瀬一聖・上野友岳・澁谷拓郎・梅田康弘(京大防災研)・佐藤比呂志・岩崎貴哉・平田直(東大地震研)・阿部 進・川中卓・井川 猛(地科研)
15:00	B019	海底地震観測とHi-netデータを用いた西南日本下の構造解析	°平田貢・王志・趙大鵬(愛媛大GRC)・尾鼻浩一郎(JAMSTEC)
15:12	B020	東海地方における深部低周波微動・スロースリップイベント発生領域の速度構造	°松原 誠・小原 一成・笠原 敬司(防災科研)
15:24	B021	レーザー関数・振幅解析を用いた西南日本におけるスラブ内海洋地殻の微細構造の研究	°飯高 隆(東大地震研)
15:36	B022	紀伊半島の広域的な電気伝導度構造(1)	°山口覚(神戸大理)・上嶋誠(東大地震研)・谷川大致(神戸大自然科学)・小河勉(東大地震研)・大志万直人(京大防災研)・村上英記(高知大理)・塩崎一郎(鳥取大工)
15:48	B023	大阪—鈴鹿測線地殻構造探査に基づく活断層の深部形状について	°佐藤 比呂志(東大地震研)・阿部 進(地科研)・加藤直子(東大地震研)・伊藤 潔(京大防災研)・平田 直・岩崎貴哉(東大地震研)・川中 卓・井川 猛(地科研)

16:00	B024	大大特2004・P波反射法地震探査による鈴鹿山地東縁断層の地下構造	°石山達也(産総研)・佐藤比呂志(東大地震研)・戸田 茂(愛教大)・岡田篤正(京大)・杉戸信彦(京大理)・木村治夫(東大地震研)・越後智雄・岡田真介(東大理)・加藤一(山梨大)・鈴木規眞(愛教大)・今村朋裕・服部泰久(京大理)・小田 晋(東大理)・小池太郎・野田克也・佐藤 良・保立 正・戸村元史(㈱ジオシス)
16:12		休憩	
16:24	B025	A study of Lg attenuation around Korean Peninsula	°鄭泰雄(世宗大學)・明鉉(韓國原子力安全技術院)
16:36	B026	2003年イラン・バム地震(Mw6.6)発生領域の3次元速度構造:浅部低ポアソン比層の存在と被害との関係	H.Sadeghi(フェルドウシ大)・S.M.Fatemi Aghda(NDRII)・°鈴木貞臣(東濃地震科学研)・中村武史(九大理)
16:48	B027	Spatial variation in transverse amplitude of teleseismic P-coda in the Eurasian continent and western Pacific	°Mungiya KUBANZA・Takeshi NISHIMURA・Haruo SATO
17:00	B028	決定論的・確率論的地震波走時解析による地下不均質構造の推定 ―クロスウェルトモグラフィへの適用例―	°齊藤竜彦・西澤修・横田俊之(産総研)
17:12	B029	余震観測記録を用いた地下構造のイメージング	°田中見枝子・白石和也・松岡俊文(京大工学研)・檜原省吾(地科研)・阿部信太郎(電中研)
17:24	B030	稠密アレイ観測によるレシーバ関数に関する疑似反射プロファイリングの適用	°阿部進(地球科学総合研)・蔵下英司・佐藤比呂志・平田直(東大地震研)・川中卓(地球科学総合研)
17:36	B031	雑微動の相互相関解析によるレイリー波群速度の推定	°高木伸昌・佐藤春夫・西村太志(東北大)・小原一成(防災科研)
17:48	B032	レシーバ関数で見る日本列島下の地殻と最上部マントル構造	°平原和朗・利根川貴志(名大環境)・澁谷拓郎(京大防災研)
18:00	B033	マルチステーション法による日本列島のレイリー波位相速度分布	°竹添はるか・吉澤和範・蓬田清(北大理地球惑星)
18:12	B034	日本列島下の等価弾性層について:地震発生域・磁性体の厚さとの関連	°田中明子・中野司(産総研)

10月19日(水) 14:00~18:24 C会場
地震活動(C014~C034)
(講演時間10分・質疑応答2分)
座長 宮町宏樹・小原一成・西村 宗・金尾政紀

14:00	C014	テレメータ観測網による2003年十勝沖地震の余震分布の検討	°宮町宏樹(鹿大理)・一柳昌義・岡山宗夫・高田真秀・山口照寛・高橋浩晃・笠原稔(北大理)
14:12	C015	2004年4月末から始まった網走・根室支庁境界付近の地震活動について	°佐鯉央教・舟崎淳(札幌管区気象台)
14:24	C016	デクラスタリングによる関東・中部地方の広域地震活動パターン	°野口 伸一・増子 徳道(防災科研)
14:36	C017	浅間山山頂火口直下における火山性地震発生領域と圧力変動源	°及川 純(東大地震研)・井田喜明(兵庫県立大)・小山悦郎・辻 浩(東大地震研)
14:48	C018	2005年2月, 4月に発生した白山群発地震活動	°中山和正(金大理)・平松良浩・古本宗充(金大自然研)・和田博夫・伊藤 潔(京大防災研)
15:00	C019	跡津川断層東端における微小地震活動 ―立山カルデラでの臨時観測結果―	°和田博夫・伊藤 潔・大見士朗・平野憲雄(京大防災研)

15:12	C020	東海地域における深部低周波微動活動の周期性および連動性—長期間連続モニタリング解析結果—	°小原一成・松本拓己・中島裕介・廣瀬仁(防災科研)
15:24	C021	南海トラフの付加体内で発生する超低周波地震の応力降下量	°伊藤喜宏・小原一成(防災科研)
15:36	C022	深部低周波微動発生の新モデル—歪計でとらえた愛知県東部の短期的スロースリップと深部低周波微動活動の同期が示唆するもの—	°鎌谷 紀子(気象庁)・勝間田 明男(気象研)
15:48	C023	東南海・南海地震想定震源域における長期海底地震観測	°山田知朗・金沢敏彦・篠原雅尚・酒井慎一・望月公廣・中東和夫(東大地震研)
16:00	C024	海底地震計による余震分布を用いて決めた2004年伊半島南東沖の地震の断層面	°酒井慎一・山田知朗・萩原弘子・篠原雅尚・金沢敏彦(地震研)・高波鐵夫(北大)・日野亮太(東北大)・清水洋(九大)・尾鼻浩一郎・小平秀一・金田義行(海洋研究開発機構)
16:12		休憩	
16:24	C025	丹波地域における1995年兵庫県南部地震後の地殻不均質性の時間変化	°菅谷勝則・平松良浩・古本宗充(金沢大自然研)・片尾浩(京大防災研)
16:36	C026	四国東部の地震活動—'02.1~'05.6の結果—	°許斐 直・松村 一男・近藤 和男(京大防災研)
16:48	C027	豊後水道下のフィリピン海スラブ内地震分布の凹み	°西村 宗・廣瀬 仁・汐見 勝彦(防災化研)
17:00	C028	九州地方中南部におけるフィリピン海スラブ内地震活動	°岡本響(京大理・地物)・大倉敬宏(京大火山研)・瀬野徹三(東大地震研)
17:12	C029	警固断層の博多湾延長部とその地震履歴	岡村真・松岡裕美(高知大)・°島崎邦彦(東大)・千田昇(大分大)・中田高(広島工大)・平田和彦(西日本技術開発)
17:24	C030	活断層周辺の地震活動から見た固有地震説	°石辺岳男・島崎邦彦(東大地震研)
17:36	C031	Seismicity in the central Philippine fault zone	°G.M. Besana(名大地震火山セ, PHIVOLCS and UP-NIGS)・安藤 雅孝(名大地震火山セ)
17:48	C032	スマトラ沖大地震(26/12/2004)前後の南極プレート周辺域における地震活動の時空間分布	°金尾政紀・野木義史(極地研)・坪井誠司(海洋研究開発機構)
18:00	C033	A study on the discrimination of foreshocks and other types of earthquakes by using stochastic reconstruction	°庄 建倉(統数研/日本学術振興会) 尾形良彦(統数研/総合研究大学院大)
18:12	C034	地震活動度の応力ステップ応答に基づく応力蓄積率の推定	°前田憲二(気象研)

10月19日(水) 18:30~19:30 ポスター会場
ポスターセッション(P001~P096)

地球熱学

P001	北海道地方における地殻熱流量分布	°松本拓己(防災科研)
------	------------------	-------------

地震に伴う諸現象

P002	地震発生に関連して観測されるVHF帯(FM放送波) 散乱波の観測	°馬場久紀(東海大海洋研)・森谷武男(北大院理地惑)・長尾年恭(東海大海洋研)
P003	御嶽山南東麓周辺の自然電位分布と地震活動の関係	°吉村令慧・山崎健一・岡田靖章・大志万直人(京大防災研)

地震予知

P004	最近観測された地震前兆VHF伝播異常の統計的性質	°森谷武男・茂木透・高田真秀(北大院理)
P005	防災科研Hi-net傾斜計によるプレスリップの検知能力	°廣瀬仁・小原一成・笠原敬司(防災科研)
P006	2004年留萌支庁南部の地震(M6.1)以降に継続している地殻変動について	°高橋浩晃・山口照寛・一柳昌義・笠原稔(北大院理)
P007	兵庫県南部地震前の地殻活動と非弾性変形モデル	°飯尾能久(京大防災研)
P008	関東における中規模地震モデル	°井元政二郎・山本菜穂子(防災科研)
P009	福岡県西方沖の余震活動での相対的静穏化とストレスシャドウと前駆すべりのシナリオについて	°尾形良彦(統数研)

地殻変動・GPS・重力

P010	マルチタイムスケールを考慮した地殻変動インバージョン解析	°伊藤拓・伊藤武男・木股文昭(名古屋大学)
P011	階層構造を持つ統計的時系列モデルを用いた測地インバージョン法の開発	°福田淳一(東大地震研)・樋口知之(統計数理研究所)・宮崎真一・加藤照之(東大地震研)
P012	Back-slip解析(Dislocation model)への疑問	°松村正三・岡田義光(防災科研)
P013	日本列島における地震発生層の上限・下限と重力異常の関連	°山本明彦(愛媛大・理)・伊藤潔(京大防災研)
P014	北海道北部におけるGPS観測と基線長解析	°安江 健一・新里 忠史・津久井 朗太(核サイクル機構・幌延研究セ)
P015	東北日本下の粘弾性構造の推定-物性値・形状不均質の影響-	°兵藤 守・堀 高峰(海洋研究開発機構)
P016	御嶽山群発地震域における絶対重力測定(2)	°田中俊行・青木治三(東濃地震科研) 木股文昭・宮島力雄(名大院環境)
P017	水準データから推定した東海地方のすべり欠損分布	°落唯史・Gamal EL-FIKY・宮崎真一・加藤照之(東大地震研)
P018	東濃地震科学研究所深部ボアホールで観測された異常歪変化と2005年7月愛知県東部低周波地震活動	°浅井康広・石井 紘・鈴木貞臣・大久保慎人・青木治三(東濃地震科研)
P019	2005年7月東海地域で観測された短期的スロースリップ	°中村浩二・吉川澄夫・橋本徹夫・竹中潤・木村一洋・青木玲子・露木貴裕・菅沼一成・高野淳(気象庁地震火山部)・小林昭夫・山本剛靖(気象研究所)
P020	2005年7月愛知県での低周波地震活動に関連する産総研の豊橋東観測点での地殻変動の検出	°北川有一・松本則夫・小泉尚嗣(産総研地質)
P021	山崎断層の安富観測点において繰り返し発生している非定常なGPS位置変動	大谷竜・°北川有一・板場智史・松本則夫・小泉尚嗣(産総研)
P022	近畿地方における産総研のボアホール歪計による長期地殻歪観測結果	°板場智史・北川有一・小泉尚嗣(産総研)
P023	干渉SARによって検出された兵庫県南部地震に誘発された地すべり変位	°藤原 智・関口辰夫・飛田幹男(国土地理院)

P024	稠密GPS観測による四国地方の地殻変動場と中央構造線の運動様式	°柄賢太郎・田部井隆雄(高知大理)・松島健(九大地震火山セ)・加藤照之・宮崎真一(東大地震研)・加藤佐代正・金山清一(四国総研)
P025	GPS観測から検出された2005年福岡県西方沖地震の余効変動	°河野裕希(九大理)・中尾茂(鹿大理)・松島健(九大理)・高橋浩晃・一柳昌義(北大理)
P026	男女群島女島の相対運動について	°中尾茂(鹿児島大理)・藤田雅之・矢吹哲一朗(海洋情報部)
P027	間隙水圧で観測したスマトラ地震による地球の自由振動	°柳谷俊・加納靖之(京大防災研)
P028	隣接したボアホール井戸で観測された間隙水圧の挙動の違いについて	°加納靖之・柳谷俊(京大防災研)
P029	繰り返し海中音速測定データを用いた単独海底局位置推定の試み	°杉本慎吾・生田領野・安藤雅孝・田所敬一・奥田隆・BESANA Glenda・仮屋新一(名大院環境)

地震活動

P030	2004年12月14日に発生した留萌支庁南部の地震(MJMA6.1)の余震活動(その2)	°一柳昌義・前田宜浩・山口照寛・高橋浩晃・笹谷努・笠原稔(北大理)・山本明彦(愛媛大理)
P031	有珠山、過去4回の噴火における地震活動と地殻変動の比較考察	岡田純・岡田弘(北大理)
P032	OBS震源をリファレンスとした再決定による三陸沖海陸プレート境界の微小地震活動	°桑野亜佐子(東北大・理)・日野亮太(東北大・理)
P033	山形盆地西縁断層帯の震源分布の再決定	°古澤豊(山形大・理工)・長谷見晶子(山形大・理)・吉本和生(横浜市立大)
P034	2005年7月23日千葉県北西部で発生した地震(M6.0)の概要とその周期性	°上野寛・石垣祐三・明田川保・太田健治・林元直樹(気象庁地震火山部)・吉田康宏(気象研)
P035	2001年箱根群発地震活動と箱根大涌谷北側斜面における新たな噴気活動との関係について	°棚田俊收・代田寧・原田昌武
P036	三宅島カルデラ直下の地震の精密震源決定	°上田英樹・藤田英輔・鶴川元雄・山本英二・實淵哲也(防災科研)
P037	三宅島のbanded tremor	°藤田英輔・鶴川元雄・上田英樹・山本英二(防災科研)
P038	津波シミュレーションによる新潟地震震源断層の推定	°守田匡宏・James Mori(京大防災研)
P039	1976-2004年の北陸地域での地震分布	°竹内文朗・澁谷拓郎・平野憲雄・松村一男・西上欽也(京大防災研)・岡本拓夫(福井高専)
P040	御嶽山周辺の相似地震活動	°山脇輝夫・山崎文人・田所敬一(名大院環境)
P041	深部低周波微動の活動間隔とスロースリップイベントの予知(2)	°勝間田明男(気象研)・鎌谷紀子(気象庁地震火山部)
P042	sP変換波の解析による紀伊半島南東沖の地震(2004/9/5)の余震分布再検討	°浅野陽一・小原一成(防災科研)
P043	An improved double-difference algorithm with sP phase and its application to the 2004 off the Kii peninsula earthquakes	°白玲・川崎一朗(京大防災研)・石川有三(気象庁精密地震)
P044	海底地震計観測による1944年東南海地震破壊域東部の地震活動	°尾鼻浩一郎・小平秀一・伊藤亜妃・神谷真一郎・金田義行(海洋研究開発機構)
P045	丹波山地における微小地震のメカニズム決定と応力場の推定	°小笠原知彦・片尾浩・飯尾能久(京大防災研)
P046	大学合同地震観測で捉えた西南日本の地震活動	°片尾浩・大見士朗・中尾愛子・中尾節郎・澁谷拓郎・近藤和男・伊藤潔(京大防災研)・西南日本大学合同地震観測グループ
P047	四国東部における低周波微動活動の周期性について	°中田令子・須田直樹(広島大・院理)
P048	四国西部で発生した深部低周波微動波形の非線形空間における性質	°中村祥・武尾実(東大地震研)・小原一成(防災科研)

P049	東北日本と西南日本での沈み込むスラブに伴う脱水反応の違い～低周波微動との関連性～	°戸田真実子(九大・理府)吉岡祥一(九大・理院)
P050	2005年台湾南部臨時自然地震観測による地震活動	°永井悟・平田直(東大地震研)・井川猛・飯塚敏夫((株)ジオシス)
P051	プレート境界付近における地震活動サイクル	°板場智史(産総研)・渡辺邦彦(京大防災研)
P052	一元化震源でみる余震活動度の高い過去の内陸地震の痕跡ー1945年三河地震(MJMA6.8)と1943年鳥取地震(MJMA7.2)ー	°青木重樹(気象研)・浜田信生(札幌管区気象台)・吉田康宏(気象研)
P053	余震の減衰様式について	°楠城一嘉(統数研)・Bogdan ENESCU(京大防災研)・Robert SHCHERBAKOV・Donald L. TURCOTTE(UC Davis)
P054	本震と最大余震のマグニチュード差と地殻熱流量	°古本宗充(金沢大自然科学)
P055	日本周辺域における前震発生傾向	°日浦一(京大理)・MORI James(京大防災研)
P056	広域応力場モニタリング法	°勝俣啓(北大)

月から始める地震学の新展開

P057	月探査データと月震分布の関連性について	°沼川広太・雷建設・趙大鵬(愛媛大地球深部)
------	---------------------	------------------------

地殻構造

P058	S波レシーバ関数解析の試み	°石瀬素子(岡大・理)・山下茂樹(岡大・理)・小田仁(岡大・理)
P059	3成分レシーバ関数を用いた地震波速度不連続面の検出～トモグラフィ結果との比較・融合～	°汐見勝彦・松原誠(防災科研)
P060	地震波速度から推定されるクラック密度とサイズシィティの関係	°野田俊太・飯尾能久(京大防災研)・山本清彦(元東北大)・関口渉次・高井香里・堀内茂木(防災科研)
P061	断層帯周辺における異方性速度構造推定のための地震波動場の計算:茂住一祐延断層における適用	°中村武史・竹中博士(九大・理)・西上欽也(京大・防災研)
P063	北海道におけるS波スプリットング	°堀修一郎・中島淳一・長谷川昭(東北大・院理)・清水淳平(気象庁)
P064	2004年新潟県中越地震震源域におけるS波スプリットング	°本堂周作・中島淳一・岡田知己・長谷川昭(東大理)
P065	福岡県西方沖地震震源域周辺におけるS波偏向異方性	°渡邊篤志・松本聡・松島健・植平賢司・松尾のり道・清水洋(九大地震火山セ)
P062	2003年十勝沖地震アスペリティ周辺の速度構造	°町田祐弥・高波鐵夫・村井芳夫(北大・理)・篠原雅尚・山田知朗・金沢敏彦・平田直・酒井慎一・望月公廣・塩原肇(東大地震研)・西野実・日野亮太(東北大学)・植平賢司・清水洋(九州大学)・金田義行・末広潔・渡邊智毅・高橋成実・佐藤壮・荒木英一郎(海洋研究開発機構)・三ヶ田均(京大・工)・宇平幸一(気象庁)
P066	1994年三陸はるか沖地震震源域の地震波構造調査	°友田博之・佐藤利典・太田雄介(千葉大)・笠原順三(TGC)・望月公廣・金沢敏彦・竹田豊太郎(東大地震研)・日野亮太・山本揚二郎(東北大)・植平賢司(九大)・小平秀一・三浦誠一・Smith Alex・佐藤壮・金田義行・末広潔(JAMSTEC)
P067	三陸はるか沖地震破壊域と深部構造との関係	°三浦誠一・小平秀一・伊藤亜妃・Smith Alex・佐藤壮・高橋成実・鶴哲郎・藤江剛・末広潔・金田義行(海洋研究開発機構)・佐藤利典(千葉大学)・日野亮太(東北大学)・望月公廣(東大地震研)・笠原順三(サイクル機構・東濃地科学セ)・金沢敏彦(東大地震研)
P068	東北日本弧で観測される地震波振幅の周波数依存性	°小菅正裕・黒滝優里(弘前大・理工)

P069	Double-Difference Tomography法による日本列島下のスラブ構造(その3:東北地方)	°中島淳一・長谷川 昭(東北大理理)・Haijiang Zhang・Clifford H. Thurber(ウイスコンシン大)
P070	荒川断層周辺の浅部地下構造	°山口和雄・加野直巳・横倉隆伸・大滝壽樹・伊藤忍(産総研)
P071	長大オフセット記録を用いた三浦半島・東京湾直下の地殻構造解明	°河村知徳(東大地震研)・David OKAYA(南カリフォルニア大)・平田直(東大地震研)
P072	DDTモグラフィ法による日光・足尾地域の3次元地震波速度構造	°萩原弘子(東大地震研)
P073	元禄地震震源断層の解明を目指す 2005年海陸境界帯統合的地震探査	°駒田希充・津村紀子・伊藤谷生・佐藤利典・宮内崇裕(千葉大)・河村知徳(東大地震研)・阿部信太郎(電中研)・宍倉正展・重松紀生(産総研)・浅尾一巳(千葉県)・井川猛・川中卓・須田茂幸・東中基倫・小澤岳史・加藤太郎(地科研)・藤原明・三沢永一・森智之・丸山友章(千葉大)
P074	2004年新潟県中越地震震源域を横断する反射法地震探査	°阿部信太郎・青柳恭平・宮腰勝義・井上大榮(電中研)・佐藤比呂志(東大地震研)・伊藤谷生(千葉大)
P075	2004年中越地震震源域における比抵抗イメージング(第2報)	°上嶋誠(東大地震研)・小川康雄(東工大)・Siripunvaraporn Weerachai(マヒドール大)・中越地震震源域電気伝導度構造研究グループ
P076	DDTモグラフィ法を用いた長野県西部地域の3次元地震波速度構造その2	°高井香里・堀内茂木(防災科研)・飯尾能久(京大防災研)
P077	中部・東海地域における3次元地下構造モデルの構築へ向けて	°鷲谷威・平原和朗・渡辺俊樹・伊藤武男・利根川貴志・政所茜・川元智司・山脇輝夫・山田功夫・光井能麻(名大・環境)
P078	自然地震および人工地震データから推定された糸魚川-静岡構造線地殻構造	°武田哲也・小原一成・笠原敬司(防災科研)・岩崎貴哉(東大地震研)
P079	Crustal Structure using the tomography method, in the central part of Itoigawa-Shizuoka Tectonic Line (ISTL).	°パナヨトプロス ヤニス・平田直・武田哲也・加藤愛太郎・蔵下英字・岩崎貴哉
P080	広帯域MT法による歪集中帯周辺における下部地殻のイメージング	°吉村令慧(京大防災研)・歪集中帯地殻比抵抗研究グループ
P081	人工地震探査による近畿地方中北部の地殻構造(2):屈折法探査記録の反射法解析	°廣瀬一聖・伊藤潔(京大防災研)
P082	紀伊半島南部の地殻のイメージング	°中川茂樹(東大地震研)・伊藤喜宏・小原一成・笠原敬司(防災科研)
P083	プレート内地震に関連する紀伊半島沖の海洋モホ面下の反射面	°仲西理子・小平秀一・三浦誠一・伊藤亜妃・佐藤壮・朴進午・金田義行(海洋研究開発機構)
P084	伊豆小笠原弧中部(第二紀南海山~南須美寿海盆~伊豆小笠原海溝)におけるマルチチャンネル反射法地震探査(序報)	°野 徹雄・瀧澤 薫・鶴 哲郎・海宝 由佳・高橋成実・小平 秀一・金田 義行(海洋研究開発機構)
P085	高密度反射法探査による相模湾の浅部地殻構造	°山下幹也・木下正高・笠谷貴史・岡野正・高橋成実・金田義行(海洋研究開発機構)
P086	伊豆・小笠原島弧の地殻不均質構造	°佐藤壮・小平秀一・高橋成実・三浦誠一・伊藤亜妃・野徹雄・金田義行(海洋研究開発機構)
P087	九州日奈久断層域における上部・中部地殻構造 II	°岩崎貴哉(東大地震研)・2003年九州日奈久断層域構造探査グループ
P088	遠地地震波形記録の平面波近似による九州地方直下におけるモホ面イメージング	°大財綾子・竹中博士(九州大)・村越匠(防衛大)
P089	福岡県西方沖地震震源域周辺における3次元地震波速度構造	°堀美緒・松本聡・植平賢司(九大地震火山セ)・岡田知己(東北大理)・山田知朗(東大地震研)・飯尾能久(京大防災研)・篠原雅尚(東大地震研)・宮町宏樹(鹿児島大理)・高橋浩晃(北大理)・中東和夫(東大地震研)・渡邊篤志・松島健・松尾のり道(九大地震火山セ)・金沢敏彦(東大地震研)・清水洋(九大地震火山セ)

P090	南大東海盆-大東海嶺-九州・パラオ海嶺を横断する地震波速度構造探査	°西澤あずさ・金田謙太郎(海洋情報部)・笠原順三(日本大陸棚調査社)
P091	南大東海盆-大東海嶺-九州・パラオ海嶺を横断する反射法地震探査	°片桐康孝・西澤あずさ・小原泰彦・加藤幸弘(海洋情報部)・田中智之(日本大陸棚調査社)
P092	沖縄海膨の地殻構造	°片桐康孝・金田謙太郎・西澤あずさ(海洋情報部)・笠原順三・田中智之(日本大陸棚調査社)
P093	台湾-南西諸島結合部におけるフィリピン海プレートの形状と地震波速度構造	°中村衛(琉大理)・Cheng-Horng Lin(Academia Sinica)・Yih-Min Wu(Taiwan Univ.)・安藤雅孝(名大)
P094	DDTモグラフィー法による西表島地域の三次元地震波速度構造	°伊良部秀輔(京大理)・中村衛(琉大理)・平原和朗(名大環境)
P095	北西太平洋「プチスポット」周りの地球物理調査	°富士原敏也・阿部なつ江(海洋研究開発機構)・平野直人(東工大)・中西正男(千葉大)・小川勇二郎(筑波大)
P096	モホ面は何処へ? -IODP Exp. 304/305 掘削結果- 大西洋中央海嶺30° Nアトランティス岩体の岩石学的特徴	°阿部なつ江(JAMSTEC・IFREE)・小原泰彦(海上保安庁)・Eric S. Andal(金沢大)・淡路俊作(東京大)・石丸聡子(金沢大)・田村明弘(金沢大)・中川達則(東北大)・野坂俊夫(岡山大)・広瀬丈博(京都大)・前田仁一郎(北大)・道林克禎(静岡大)・山崎徹(北大)・IODP Exp. 304/305乗船研究者一同(TAMU)

10月20日(木) 9:00~12:21 A会場
 プレート境界域のモニタリングとアスペリティモデルの検証(A034~A049)
 (講演時間10分・質疑応答2分; A035, A045は講演時間12分・質疑応答3分)
 座長 海野徳仁・村上 亮・青木 元

9:00		主旨説明	°海野徳仁(東北大)・村上 亮(国土地理院)・青木 元(仙台管区気象台)
9:03	A034	東海地震想定震源域におけるアスペリティの推定	°松村正三(防災科研)
9:15	A035*	深部低周波微動に同期した短期的スロースリップイベントのモーメント解放履歴 -- SSEパッチ --	°廣瀬仁・小原一成(防災科研)
9:30	A036	東海地域におけるプレート間カップリング能動監視の試み -- 理論波形と観測記録の比較	鶴我佳代子(JNC東濃)・°笠原順三(静岡大)・羽佐田葉子・國友孝洋(JNC東濃)・生田領野・渡辺俊樹(名大)・山岡耕春(東大震研)・藤井直之(名大)・熊澤峰夫・長尾大道・中島崇裕(JNC東濃)・雑賀敦(名大)・里村幹夫(静岡大)
9:42	A037	関東地域のテクトニクスと大地震の発生: 地震間のすべり遅れ分布	°野田朱美・橋本千尋・松浦充宏(東大理)
9:54	A038	測地的に見た南関東地域のプレート間カップリング -- 新たなプレート境界形状モデルに基づく知見 --	°鷺谷 威(名大環境)・佐藤比呂志(東大地震研)
10:06	A039	DDTモグラフィー法による2004年新潟県中越地震の震源断層とアスペリティのイメージング	°岡田知己・柳沼直・長谷川昭(東北大)・Hajiang Zhang・Clifford Thurber(Univ. of Wisconsin, Madison)
10:18	A040	波形インバージョンとDDTモグラフィーによる1997年鹿児島県北西部地震のアスペリティのイメージング	°柳沼直・岡田知己(東北大)・八木勇治(筑波大)・後藤和彦・宮町宏樹(鹿児島大)・長谷川昭(東北大)・Hajiang Zhang・Clifford Thurber(Univ. of Wisconsin, Madison)
10:30	A041	海底地震連続観測データを用いた福島県沖プレート境界域に発生する地震の震源再決定	°西野実・日野亮太(東北大・理)
10:42	A042	宮城県沖地震震源域の地震波速度構造と微小地震活動	山本揚二郎・°日野亮太・西野実・桑野亜佐子(東北大・理)・山田知朗・金沢敏彦(東大地震研)・青木元・橋本徹夫・阿部正雄(気象庁)
10:54	A043	GPSによって観測された2005年8月16日宮城県沖地震(M7.2)前後の地殻変動	°三浦 哲・油井智史・長谷川 昭(東北大・院理)・八木勇治(筑波大・院生命環境)
11:06	A044	宮城県沖地震の震源域と地殻構造 ~ 2004年エアガン・OBS構造探査 ~	°藤江剛・三浦誠一・小平秀一・金田義行・伊藤亜妃(海洋研究開発機構)・篠原雅尚・望月公廣・山田知朗・渡邊いづみ・金沢敏彦(東大地震研)・日野亮太・西野実・桑野亜佐子・山本揚二郎(東北大)・村井芳夫・斎藤市輔・町田祐弥・牧野由美・高波鐵夫(北大)・石村千晴・太田雄介・友田博之・佐藤利典(千葉大)・植平賢司(九大)
11:18	A045*	宮城県沖地震想定震源域付近における爆破を震源とした海陸地震波構造探査	°渡邊いづみ・篠原雅尚・望月公廣・山田知朗・中東和夫・金沢敏彦・蔵下英司・加藤愛太郎・飯高隆・平田直・岩崎貴哉(東大地震研)・日野亮太・西野実・桑野亜佐子・山本揚二郎(東北大)・高波鐵夫・村井芳夫・町田祐弥・牧野由美・齊藤市輔・東龍介(北大理)・佐藤利典(千葉大理)・植平賢司(九大理)・三浦誠一・藤江剛・金田義行(海洋研究開発機構)

11:33	A046	文久(1861年)以後の宮城県沖地震の震度インバージョン解析結果ー1937年7月27日の地震(M=7.1)を追加して	°武村雅之・神田克久(鹿島小堀研)
11:45	A047	宮城県沖周辺海域における海底地殻変動観測の進捗状況	°藤本博巳・木戸元之・長田幸仁・水上知子・対馬弘晃・桑野亜佐子・西野実・日野亮太・三浦哲(東北大理)・金沢敏彦(東大地震研)
11:57	A048	海上保安庁の海底地殻変動観測 ～宮城県沖海底で検出されたプレート内変動～	°藤田雅之・石川直史・松本良浩(海洋情報部)・望月将志(東大生産研)・佐藤まりこ・矢吹哲一朗(海洋情報部)・浅田昭(東大生産研)
12:09	A049	海底地殻変動の将来計画	°安藤雅孝・田所敬一・生田領野・奥田隆・杉本慎吾・グレンダ・ベサナ(名大地震火山セ)

10月20日(木) 9:00～12:24 B会場
地殻構造, 岩石実験・地殻応力, 地球化学・地下水, 地盤構造・地盤震動(B035～B051)
(講演時間10分・質疑応答2分)
座長 高橋成実・吉田真吾・横井俊明

9:00	B035	稠密地震計アレイ観測による2005年福岡県西方沖地震震源域南東部の散乱体イメージング	°松本聡・渡邊篤志・松島健(九大地震火山セ)・宮町宏樹・平野舟一郎(鹿児島大理)
9:12	B036	九州・パラオ海嶺南部の地殻構造(2)	°西澤あずさ・金田謙太郎・片桐康孝(海洋情報部)・笠原順三(日本大陸棚調査社)
9:24	B037	南部伊豆小笠原島弧-背弧系の地震波構造	°高橋成実・海宝由佳・佐藤壮・藤江剛・野徹雄・小平秀一・金田義行(海洋研究開発機構)
9:36	B038	地殻構造・最上部マントル構造から見た海洋性島弧成長過程ー伊豆弧火山フロントに沿った地下構造探査の結果とその解釈ー	°小平秀一・佐藤壮・高橋成実・伊藤亜妃・金田義行(海洋研究開発機構)
9:48	B039	130Maの北西太平洋プレート上に活動する新しい海底火山“ブチスポット”に関する総合調査	°阿部なつ江(JAMSTEC)・平野直人(東工大)・富士原敏也・市来雅啓(JAMSTEC)・馬場聖至(東大地震研)・町田嗣樹・原口悟(東大)・中西正男(千葉大)・小川勇二郎(筑波大)
10:00	B040	2005年南部台湾横断臨時自然地震観測	°平田直・永井悟(東大地震研)・井川猛・黒田徹(地球科学総合研)
10:12	B041	P波, S波速度変化から推定した岩石内部のクラック形状と飽和度の変化	°増田幸治・西澤 修(産総研)
10:24	B042	間隙水圧の変化に伴う岩石の弾性波速度および透水係数の変化ー台湾・車籠埔断層掘削コアを例としてー	°北村圭吾・高橋美紀・増田幸治(AIST)・伊藤久男(JAMSTEC)・宋聖榮(国立台湾大)・王乾盈(国立中央大)
10:36	B043	最大900°C, 1GPaにおける下部地殻岩のP波,S波速度同時測定:斜長石における400°C以上での急激な速度低下の発見	°河野義生・石川正弘・有馬眞(横浜国大)
10:48	B044	一軸圧縮による岩石の破壊前後に放出されるガスの組成変化	°小泉早苗・角森史昭・野津憲治(東大院理地殻化学)
11:00	B045	弾性波で見る定常すべり面の有効接触時間	°永田広平・中谷正生・吉田真吾(東大地震研)
11:12	B046	岩石破壊に伴う可視光発光現象	°加藤 護(京大人環)・三井雄太(京大総人)・柳谷 俊(京大防災研)
11:24	B047	高温高圧下での岩石の電気伝導度測定ー金属ジャケットの影響の見積もり	°小河勉・吉田真吾・上嶋誠・桑野修・中谷正生(東大地震研)

11:36	B048	御前崎観測井における地下水溶存ガスの観測について	◦角森史昭・野津憲治(東大理)
11:48	B049	Down Hill Simplex法との結合による高速焼きなまし法の高速化-表面波分散曲線のインバージョン解析用冷却スケジュールの検討-	◦横井俊明(建築研国際地震)
12:00	B050	重力・微動データ併合処理による2次元地盤構造の高精度推定手法の提案	◦坂井公俊・盛川仁(東京工業大)
12:12	B051	不規則基盤面形状推定のための微動水平・上下比によるインバージョン	◦上林宏敏(広島国際大)

10月20日(木) 9:00~12:24 C会場
地震発生の物理(C035~C051)
(講演時間10分・質疑応答2分)
座長 吉岡直人・阪口 秀・飯尾能久

9:00	C035	透過弾性波により、応力下の断層内物質(ガウジ層)の振る舞いを探る—その2	◦吉岡直人(横浜市大)・阪口 秀・堀 高峰(JAMSTEC)
9:12	C036	せん断を受けるガウジ層内におけるアスペリティの形成とスティック・スリップ現象のメカニズム	◦阪口 秀・堀 高峰(海洋研究開発機構)・吉岡直人(横浜市立大理)・金田義行(海洋研究開発機構)
9:24	C037	跡津川断層クリープ域の摩擦特性の深さ依存性 – NIED ATG-1コア中の断層ガウジを用いた高温高圧三軸変形実験 –	◦溝口一生・福山英一(防災科研)・北村圭吾・高橋美紀・増田幸治(産総研)・小村健太郎(防災科研)
9:36	C038	断層帯のアーキテクチャの発展と現在のすべり面の関係	◦田中秀実・浦田紀子(東大理地惑)・小村健太郎・松田達生(防災科研)
9:48	C039	摩擦発熱とthermal pressurizationモデルの野島断層への適用	◦浦田紀子・田中秀実(東大理地惑)・芝崎文一郎(建築研究所)
10:00	C040	動的面内剪断破壊における温度・流体圧の効果	◦鈴木岳人・山下輝夫(東大地震研)
10:12	C041	近地地震波形記録を用いたすべり弱体化距離の推定	◦James MORI(京大防災研)
10:24	C042	南アフリカ金鉱山震源極近傍での歪変化に見えるもの(1:概要)	南アフリカ金鉱山における半制御地震発生実験国際共同グループ(◦小笠原宏;立命館大理工)
10:36	C043	初期破壊過程の解析 -2004年新潟県中越地震の場合-	◦内出崇彦・井出哲(東大院理・地惑)
10:48	C044	2004年新潟県中越地震の動的応力変化	◦木村武志・宮武隆・引間和人・瀨藤一起(東大地震研)
11:00	C045	Detailed analysis of the Early Aftershock Activity of the 2004 Mid Niigata Prefecture Earthquake (Mw6.6)	◦Bogdan ENESCU・Jim MORI・澁谷拓郎・伊藤潔・飯尾能久・宮澤理稔(京大防災研)・松島健・植平賢司(九州大学)
11:12	C046	1984年長野県西部地震域におけるメカニズム解の空間分布と本震による応力変化との関係	◦行竹洋平・飯尾能久(京大防災研)・高井香里・堀内茂木(防災科研)
11:24	C047	福岡県西方沖地震の余震の応力降下量分布	◦飯尾 能久・片尾 浩・上野友岳・Bogdan Enescu・平野憲雄(京大防災研)・岡田知巳・内田直希(東北大)・植平賢司・松本聡・松島 健・清水 洋(九大地震火山セ)
11:36	C048	フラクタル面での破壊伝播と地震波動エネルギー放射	◦井出 哲(東大理地惑)・青地秀雄(BRGM, France)
11:48	C049	古典的地震放射エネルギーの現代的解釈	◦松浦 充宏(東大理)
12:00	C050	地震発生場の応力指標としてのEnergy Indexの意味	◦川方 裕則(京大防災研)
12:12	C051	負の応力降下域と破壊過程への影響	◦宮武隆・木村武志・安田拓美(東大地震研)

10月20日(木) 12:30~12:50 A会場
2005年8月16日の宮城県沖の地震に関する緊急報告集会

10月20日(木) 13:30~14:21 A会場
プレート境界域のモニタリングとアスペリティモデルの検証(A050~A053)
(講演時間10分・質疑応答2分; A051は講演時間12分・質疑応答3分)
座長 海野徳仁・村上 亮・青木 元

13:30	A050	プレート境界地震の震源モデル化と強震動評価	° 瀬戸内 一起・三宅弘恵(東大地震研)・大田 特I研究グループ
13:42	A051*	小繰り返し地震による千島・日本海溝沿いプレート境界の準静的すべりモニタリング	° 内田直希・松澤暢・平原聡・長谷川昭(東北大)・笠原稔(北大)
13:57	A052	海底水圧計データからみたアスペリティモデル - 2003年十勝沖地震の余効すべり	° 馬場俊孝・平田賢治・堀 高峰(海洋研究開発機構)
14:09	A053	2003年十勝沖地震以降北海道東部千島海溝沿いプレート境界上で進行しているスロースリップ	° 村上 亮(国土地理院)

10月20日(木) 14:21~17:30 A会場
いま北海道東部で何が起きているのか?(A054~A065)
活断層と古地震(A066~A067)
(講演時間10分・質疑応答2分; A055, A056, A057, A062は講演時間12分・質疑応答3分)
座長 西村卓也・油井智史・東田進也・福田淳一

14:21	A054	地震予知研究における北海道東部の地震研究の意義	° 山岡耕春(東大地震研)
14:26	A055*	震源解析による北海道東部アスペリティ分布の特徴	° 山中佳子(東大地震研)
14:41	A056*	地震発生サイクルの数値シミュレーションから見た北海道東部の地殻活動	° 堀 高峰・馬場俊孝・金田義行(海洋研究開発機構)
14:56	A057*	2004年釧路沖地震以降の北海道東部の地殻変動とその解釈	° 水藤尚・小沢慎三郎・村上亮(国土地理院)
15:11	A058	測地データによる1952年十勝沖地震の断層モデル再検討	° 西村卓也(国土地理院)
15:23	A059	2003年十勝沖地震(M8.0)前後の北海道地方のプレート間カップリング状況	° 油井智史・三浦哲・長谷川昭(東北大院理)・八木勇治(筑波大院生命環境)
15:35		休憩	
15:44	A060	測地インバージョンによる2003年十勝沖地震の余効すべりの時間発展とプレート境界の摩擦特性	° 福田淳一・宮崎真一・加藤照之・加藤尚之(東大地震研)・樋口知之(統計数理研究所)
15:56	A061	反射係数の時間変化から推定される2003年十勝沖地震前後の間隙圧変化(2)	° 鶴哲郎・朴進午・伊藤亜妃・木戸ゆかり・金田義行(海洋研究機構)・山田知朗・篠原雅尚・金沢敏彦(東大地震研)
16:08	A062*	1952・2003年十勝沖, 1973年根室半島沖地震の津波研究	° 平田賢治(海洋研究開発機構)・佐竹健治(産総研活断層)・谷岡勇市郎(北大地震火山セ)・長谷川洋平(気象研)
16:23	A063	DD法により推定された北海道下スラブ内地震にみられる特異的活動	° 北 佐枝子・岡田知己・中島淳一・松澤暢・菅ノ又淳一・長谷川 昭(東北大院理)・Stephen H. Kirby(米国地質調査所)
16:35	A064	2003年十勝沖地震(M8.0)と2004年釧路沖の地震(M7.1)の余震活動および北海道東部の内陸地震活動の特徴について	° 尾形良彦(統計数理研究所)
16:47	A065*	北海道東部で進行中の地震活動の静穏化と活発化	° 勝俣啓・笠原稔(北大)

16:59		総合討論	平松良浩, 長尾年恭
17:06	A066	歴史上の宮城県沖地震との対比で見た2005年8月16日地震の震度および津波分布	° 都司嘉宣(東大地震研)・伊藤純一・行谷佑一(東大地震研)・上田和枝
17:18	A067	なぜ活断層はそこにあるのか フィリピン海プレートスラブとの相補関係	° 遠田晋次(産総研活断層)

10月20日(木) 13:30~17:30 B会場
地盤構造・地盤震動, 強震動・地震災害(B052~B070)
(講演時間10分・質疑応答2分)
座長 池浦友則・先名重樹・山本俊六

13:30	B052	S波バイブレータを用いた屈折法及び反射法探査	° 稲崎 富士(土木研究所)
13:42	B053	地形・地盤分類250mメッシュマップによるVs30分布の推定	° 松岡昌志・若松加寿江(防災科研)
13:54	B054	A possibility of applying PS-phase conversion to detect seismic bedrock at KiK-net sites in the Kanto area, Japan	° Ken Xian-Sheng Hao(CCJ, Canada)・藤原広行(防災科研)・成田 章(三菱スペースソフトウェア)
14:06	B055	鉛直アレーにおける観測点間の地震動伝達特性	° 池浦友則(鹿島技研)
14:18	B056	堆積平野の基盤構造推定における微動アレー探査法の適用限界の検証	° 倉橋奨・正木和明(愛知工業大)・澤田義博(名大) 凌魁群(ジオアナリス研)
14:30	B057	微動アレー観測による苫小牧・勇払平野の深部地下構造の推定	° 神野達夫(広島大)・畑山 健(消防研)・津野靖士(東大)・工藤一嘉(東大地震研)・前田宜浩・笹谷 努(北大)・古村孝志・坂上 実(東大地震研)
14:42	B058	2003年十勝沖地震の際の苫小牧・勇払平野における長周期地震動:2次元波動伝播計算による特徴の再現	° 畑山健(消防研)・神野達夫(広島大)・工藤一嘉(東大地震研)
14:54	B059	関東平野の地震観測記録に現れる長周期地震動特性-2004年紀伊半島南東沖の地震と深部地盤構造に基づく検討-	° 江藤公信(東京ソイル)・瀬尾和夫・山中浩明・元木健太郎(東工大)・山田伸之(中央開発)
15:06	B060	南関東地域の表層地盤モデルの作成	° 大井昌弘・遠山信彦・先名重樹・藤原広行(防災科研)
15:18		休憩	
15:30	B061	小千谷・川口地区における地盤構造調査と浅部地盤モデルの検討	° 先名重樹・森川信之・安達繁樹・大井昌弘(防災科研)・ハオ憲生(CCJ)・萩原由訓(大林組)・鈴木一成(ダイヤコンサル)・藤原広行(防災科研)
15:42	B062	2004年新潟県中越地震における表層地盤の非線形応答解析	° 藤川智・先名重樹・藤原広行(防災科研)
15:54	B063	表層地盤における表面波の増幅	° 飯田昌弘(東大地震研)
16:06	B064	数値実験による地盤特性と増幅率の関係	° 横田 崇(気象庁)・稲垣 賢亮・増田 徹(応用地質)
16:18	B065	大阪盆地の1秒より長周期Q値の周波数依存性の検討	° 堀家正則(大阪工大)・山田浩二(阪神コン)
16:30	B066	関東地域における広域深部観測井VSPによる深層地盤のQ-値の推定(その1)	° 山水史生(防災科研)
16:42	B067	地震時の死者低減に注目した住家の耐震性向上(5) -人的被害評価「基本」式の組立-	° 太田 裕(東濃地震科学研)・中嶋唯貴(愛知淑徳大)
16:54	B068	計測震度の物理的意味(3)	° 青木治三(東濃地震科学研)
17:06	B069	緊急地震情報における震度マグニチュード利用の提案とその利点	° 山本俊六・堀内茂木(防災科研)・東田進也(気象庁)
17:18	B070	緊急地震速報の情報発表シミュレーションによる防災システムの有効性検討	° 浅原 裕(先端力学シミュレーション研)・大角恒雄(日本工営中央研)

10月20日(木) 13:30~17:30 C会場
地震発生の物理, 地震の理論・解析法, 地震一般・その他(C052~C070)
(講演時間10分・質疑応答2分)
座長 光井能麻・西田究・神定健二

13:30	C052	内陸における地殻の変形と応力集中過程ー温度構造の不均質の効果ー	° 芝崎文一郎(建築研)・柄谷和輝(CRC)
13:42	C053	プレートの形状と境界面の摩擦則に支配される南海トラフ地震発生サイクル	° 光井能麻(名大・環境学)・平原和朗(京大・理)
13:54	C054	Shallow Dip-Slip Earthquake: Its Dynamics and Generation of Corner Waves	° Koji UENISHI (Kobe Univ.)・Raúl I. MADARIAGA (Ecole Normale Supérieure Paris)
14:06	C055	地震時電離層擾乱による震源過程の推定: 2004年スマトラアンダマン地震	° 日置幸介(北大理)・大塚雄一(名大STE研)・N.CHHOOSAKUL・橋爪道郎(チュラロンコン大学)・N.HEMMAKORN(モンクット王工科大)・T. KOMOLMIS(チェンマイ大)・丸山隆(情報通信研究機構)
14:18	C056	三角形断層上の一様すべり速度に対する応力グリーン関数	° 多田 卓(東京理科大・工)
14:30	C057	半無限多層構造弾性媒質中の点食い違い源による内部変形場: 安定解とその導出の歴史	° 深畑幸俊・松浦充宏(東大理)
14:42	C058	高次変形と回折限界を考慮した震源過程のモデル化	° 大内徹
14:54	C059	地震波速度の応力依存性に関する理論的考察 II. 地殻応力と地震波速度の異方性	° 山本 清彦
15:06	C060	短周期エネルギー輻射継続時間によるモーメントマグニチュード(Mwd)の即時決定	° 神定健二・古舘友通(気象庁)・原辰彦(建築研究所)
15:18	C061	ストーリーミング歪解析法を用いた単一観測点地震検知手法	° 大久保 慎人(東濃地震科学研)
15:30		休憩	
15:42	C062	不規則四面体分割における区分線形内挿下でのロバストな波線追跡	° 干野真(北大地震火山センター)
15:54	C063	Hi-net傾斜計を用いた日本列島表面波位相速度のマッピング	° 西田究・川勝均(東大地震研)・小原一成(防災科学術研)
16:06	C064	脈動Love波の発生メカニズムについて: 台風起源の脈動	° 川上 慶高・西田 究・川勝 均(東大地震研)・小原 一成(防災科学技術研)
16:18	C065	半無限ランダム不均質構造におけるベクトル弾性散乱波エンベロープの理論合成	° 前田 拓人・佐藤 春夫・西村 太志(東北大理)
16:30	C066	準球座標系差分法(4)	° 豊国 源知・竹中 博士(九大・理・地惑)・王 彦賓(北京大・地球物理)
16:42	C067	Harvardカタログにおいて大地震発生直後に見られるグローバルな地震検出率の低下	° 岩田貴樹(統計数理研究所)
16:54	C068	ISS年代の震源再決定ーコスタリカ周辺の場合ー	° 牧 正
17:06	C069	深度1030mボアホールへの地殻活動総合観測装置の設置(定林寺観測点)と初期変動の特徴について	° 石井 紘・浅井康広・大久保慎人(東濃地震科学研)・松本滋夫(東大地震研)・山内常生(名大)・青木治三(東濃地震科学研)
17:18	C070	粘弾性体を用いた転倒防止金物を取り付けた家具の振動台実験	° 迫田丈志・佐藤孝典(アイディールブレーション)・御子柴 正(防災科研)・吉岡智和(九大)

10月20日(木) 17:30~18:30 ポスター会場
 ポスターセッション(P097~P156), 緊急報告ポスター(PM01~PM32)

地震発生の物理

P097	関東地方におけるフィリピン海プレート上面の相似地震活動の時空間分布に見られる特徴	°木村尚紀・笠原敬司(防災科研)・五十嵐俊博・平田直(東大地震研)
P098	関東地方の相似地震活動	°五十嵐俊博(東大地震研)
P099	東海地方における相似地震活動	°松原 誠・小原 一成・笠原 敬司(防災科研)
P100	2004年新潟県中越地震余震域の相似地震活動	°加藤愛太郎・酒井慎一・平田直・五十嵐俊博(東大地震研)
P101	2004年新潟県中越地震系列 : スペクトル比特性と複合断層構造の対応およびエネルギー放射の分布	°田島礼子・田島文子(広島大・院理)
P102	精密震源分布から推定された長野県西部地域の弱面分布	°浅香雄太・飯尾能久・澁谷拓郎(京大防災研)・高井香里・堀内茂木(防災科研)
P103	長野県西部地域で発生した微小地震の波形記録に見られる初動の特徴	°三浦宏一・飯尾能久・行竹洋平(京大防災研)・高井香里・堀内茂木(防災科研)
P104	応力テンソルインバージョンによる跡津川断層周辺の応力場	°今西和俊・桑原保人・水野高志(産総研)・武田哲也(防災科研)・伊藤潔・和田博夫(京大防災研)
P105	2005年福岡県西方沖地震の初期段階にみられた破壊の特徴(1)	°山口慎司・梅田康弘・川方裕則・安達俊仁(京大防災研)
P106	本震と余震の先行する破壊の違いについて	°安達俊仁・梅田康弘・川方裕則・山口慎司(京大防災研)
P107	2004年スマトラ大地震による周期的誘発が示唆する深部低周波微動のメカニズム	°宮澤理稔・Jim MORI(京大防災研)
P108	Rupture Velocity of the 2002 East China Deep Earthquake (Mw 7.3)	°Sun-Cheon PARK・Jim MORI(京大防災研)
P109	Comparison between seismicity and crustal deformation in Tien-Shan, Kyrgyzstan using local seismic and GPS networks data	Alexander KOSTUK (Russian Academy of Science.), °Yuji YAGI (Univ. of Tsukuba), Takeshi SAGIYA (Nagoya Univ.)
P110	南アフリカ金鉱山震源極近傍での歪変化に見えるもの(2:Bambanani:Seismicity)	南アフリカ金鉱山における半制御地震発生実験国際共同グループ(°下田直之・小笠原宏・竹内淳一;立命館大理工)
P111	南アフリカ金鉱山震源極近傍での歪変化に見えるもの(3:Bambanani:歪変化の原因と特徴)	南アフリカ金鉱山における半制御地震発生実験国際共同グループ(°山本覚仁・糀谷剛・小笠原宏・竹内淳一・下田直之・直井誠・森下健;立命館大理工)
P112	南アフリカ金鉱山震源極近傍での歪変化に見えるもの(4:Bambanani:震源距離数10m以内で見える震源域の挙動)	南アフリカ金鉱山における半制御地震発生実験国際共同グループ(°直井誠・小笠原宏・竹内淳一・下田直之・森下健・山本覚仁;立命館大理工)
P113	南アフリカ金鉱山震源極近傍での歪変化に見えるもの(5:Mponeng:採掘発破の応力擾乱と誘発地震)	南アフリカ金鉱山における半制御地震発生実験国際共同グループ(°森下健・小笠原宏・竹内淳一・下田直之;立命館大理工)
P114	活断層帯中の炭酸塩鉱物脈の安定同位体比から断層の回復過程を復元する試み - 防災科学技術研究所阿寺断層帯コア解析の例一	°平野 聡(海洋研究開発機構)・小村健太郎・松田達生(防災科技研)・池田隆司(北大)
P115	付加体中の鉱物脈から見た地震発生帯上限域の流体圧・流体組成変動	°山口飛鳥(東大理地惑)・氏家恒太郎(JAMSTEC)・木村 学(東大理地惑/JAMSTEC)
P116	メルトパッチの成長を考慮した、摩擦すべりから融解に至る遷移過程の微視的モデル	°松澤孝紀(東大理地惑)・武尾実(東大地震研)・井出哲(東大理地惑)
P117	不均質媒質中の地震破壊のシミュレーション - 破壊現象の解析に適した有限要素法FEM- β を用いて一	°亀 伸樹(九大院理)・小国 健二(東大地震研)
P118	Crack Propagation in Hyperelastic Media and Its Implications to Fast Fault Rupture	°Koji UENISHI・Shuji NIGORIIKE (Kobe Univ.)

P119	連結したレイリー振動子による地震活動の力学モデル	°阿部雄太・前田壺(北大)
P120	三角要素モデルによるプレート境界面の形状を考慮した地震発生サイクルの検証	°光井能麻(名大・環境学)・堀高峰(JAMSTEC・IFREE)・平原和朗(京大・理)

プレート境界域のモニタリングとアスペリティモデルの検証

P121	海底地殻変動観測におけるGPSマスト局アンテナの利用	°松本良浩・藤田雅之・河合晃司・石川直史(海上保安庁)・望月将志・浅田 昭(東大生研)
P122	音響トランスデューサー位相特性が及ぼす海底局位置解析への影響	°望月将志(東大生産研)・松下 優(海洋情報部)・吉田善吾(東大生産研)・成田誉孝・石川直史・河合晃司・松本良浩・藤田雅之(海洋情報部)・浅田 昭(東大生産研)
P123	海底地殻変動観測における海中水温構造の影響	石川直史・°藤田雅之・松本良浩(海上保安庁)・望月将志・浅田 昭(東大生研)
P124	音響測距による海底断層運動の検出にむけた精度評価	°木戸元之・藤本博巳・桑野亜佐子(東北大・理)
P125	近地sP波から推定される十勝沖及び釧路沖の地震の震源分布	°真保敬・佐藤魂夫(弘前大・理工)
P126	1978年と1936年の宮城県沖地震の震源比較	°青木元・吉川一光・長谷川安秀・田中宏樹・清水淳平(仙台管区气象台)・橋本徹夫(気象庁)
P127	2005年宮城県沖地震のアスペリティ	°山中佳子(東大地震研)
P128	津波波形を用いた1936年宮城県沖地震の震源過程の再解析	°谷岡勇市郎(北大センター)・長谷川洋平(気象研)
P129	東海地域の固着アスペリティ周辺での応力場	°西村 宗・松村 正三
P130	東海地震の想定震源域付近における産総研の多成分歪計のノイズレベル	°松本則夫・北川有一・小泉尚嗣(産総研)
P131	プレート境界形状を考慮した相模トラフ沿いのアスペリティモデル	°小林励司・瀨瀬一起(東大地震研)
P132	沈み込みプレート境界における余効すべり伝播速度の空間分布(その3)	°有吉慶介・松澤暢・長谷川昭(東北大理予知セ)
P133	スマトラ西方沖の地震活動および地殻変動の連続モニタリング	°石原 靖(IFREE,JAMSTEC)・海半球ネットワーク運用グループ

地震の理論・解析法

P134	1999年台湾集集地震Chelungpu断層における温度異常検出	°藤尾良・James Mori(京大防災研)・伊藤久男(産総研)・柳谷俊・加納靖之・中尾節郎・西村和浩・堂真正智(京大防災研)
P135	稠密広帯域地震観測網を用いたセントロイドモーメントテンソル解析と解の精度	°伊藤喜宏・小原一成(防災科研)・岡田知己(東北大院・理)・関口渉次(防災科研)
P136	ファイバー束を用いて上部大陸地殻の変形をモデル化する	°楠城一嘉(統数研)・Donald L. TURCOTTE(UC Davis)
P137	スペクトル要素法により計算したグローバル理論地震記録のデータベース	°坪井誠司(IFREE/JAMSTEC)・Jeroen Tromp(Caltech)・Dimitri Komatitsch(Univ. of Pau)
P138	自由振動と表面波のQの不一致:自由振動スペクトル解析におけるノイズの影響	°久須見健弘・須田直樹(広島大・院理)
P139	Hi-net傾斜計を用いた日本列島長周期波動場のモニタリング	°西田究・川勝均・鶴岡弘(東大地震研)・小原一成(防災科技研)
P140	波動場の2点相関関数からグリーン関数が求められるのはなぜか? 1次元問題に対する証明	°中原 恒(東北大院・理)
P141	複素wavelet解析を用いたアレイ地震記録におけるcoherentな散乱波の検出法	°蓬田 清(北大理)
P142	地殻内散乱体, 反射面同時推定インバージョンの試み	°松本 聡(九大・地震火山センター)
P143	不均一な減衰媒質中における震源位置とコーダ波エネルギーの時空間分布の関係	°吉本和生(横浜市立大)・飯高隆(東大地震研)

P144	走時トモグラフィの分解能を示す指標としての波線密度	° 関口 渉次(防災科研)
P145	速度1次補間四面体要素による走時トモグラフィ	° 平山 義人・岩瀬 康行・村越 匠(防衛大)

地震一般・その他

P146	松代伸縮計で観測されたスマトラ沖地震による広帯域地震波形	° 岡本 大志・池上 裕・中西 一郎(京大理)・小久保 一哉・石川 有三(気象庁精密地震観)
P147	地震観測網の火球衝撃波観測網としての有効性	° 石原 吉明・田中 聡(東北大・院・理)
P148	Wavelet変換による阿蘇火山の長周期微動の検出(2)	° 松林 弘智(防災科研)
P149	兵庫県北部の地震活動と地下構造	° 野口 竜也・真鍋 典子・西田 良平(鳥取大・工)
P150	2004年10月5日に池田町(福井)に発生したM4.8の地震に伴う諸現象	° 岡本 拓夫(福井高専)・平野 憲雄・竹内 文朗・西上 欽也・渡辺 邦彦(京大防災研)・田中 保士(田中地質)
P151	3D Thermal Modeling in Southwest Japan	° R. Alex J. Smith (IFREE)・Kelin Wang・John He (Geological Survey of Canada)
P152	高レベル放射性廃棄物処分に関わる「地震・断層活動」シナリオの構築	° 川村 淳・梅田 浩司・牧野 仁史(サイクル機構)
P153	卓上の地震活動解析 SEIS-PC for Windowsのこの8年	中村 浩二(気象庁地震火山)・° 石川 有三(精密地震観測室)
P154	地震活動解析ソフト(TSEIS)のマルチプラットフォーム化	° 鶴岡 弘(東大地震研)

岩石実験・地殻応力

P155	回転式低速せん断すべり試験機の作成・その2	° 矢部 康男(東北大院理)
P156	有効封圧の変化に伴う砂岩の浸透率変化 ～台湾・車籠埔断層掘削コアを例として～	° 高橋 美紀・北村 圭吾・増田 幸治(AIST)・伊藤 久男(JAMSTEC)・宋 聖榮(国立台湾大)・王 乾盈(国立中央大)

2005年8月16日の宮城県沖の地震に関する緊急報告ポスター

PM01	2005年8月16日の宮城県沖の地震の概要	気象庁地震火山部・仙台管区气象台(発表責任者:橋本徹夫)
PM02	海底地震観測による2005年8月16日宮城県沖地震の本震および余震の震源分布	° 日野 亮太・山本 揚二郎・西野 実(東北大)・金沢 敏彦・山田 知朗・中東 和夫・望月 公廣・篠原 雅尚(東大震研)・青木 元・田中 昌之(気象庁)・金田 義行・荒木 英一郎・小平 秀一・藤江 剛(JAMSTEC)
PM03	海底地震計を用いた2005年8月16日宮城県沖の地震の余震観測 -ヘリコプターによる緊急設置-	° 金沢 敏彦・山田 知朗・中東 和夫・望月 公廣・篠原 雅尚・酒井 慎一(東大震研)
PM04	宮城県沖の地震で見られる近地sP波について	° 真保 敬・佐藤 魂夫(弘前大・理工)
PM05	2005年8月16日の宮城県沖の地震に先立つ地震活動変化	° 松村 正三(防災科研)
PM06	2005年8月16日宮城県沖の地震(Mj7.2)周辺の相似地震活動	° 内田 直希・松澤 暢・平原 聡・長谷川 昭(東北大)
PM07	2005年、1978年宮城県沖地震の余震分布の比較 - 余震活動域の時間的保存性	° 岡田 知己・柳 沼直・北佐 枝子・海野 徳仁・松澤 暢・中島 淳一・内田 直希・河野 俊夫・長谷川 昭(東北大)
PM08	過去の宮城県沖地震の震源再決定	° 海野 徳仁・河野 俊夫・岡田 知己・中島 淳一・松澤 暢・内田 直希・長谷川 昭(東北大)・田村 良明(国立天文台)・青木 元(仙台管区气象台)
PM09	地震波形を用いた1936年と2005年宮城県沖の地震の比較	° 金森 博雄(カリフォルニア工科大)・宮澤 理稔・Jim Mori(京大防災研)
PM10	2005年8月16日宮城県沖の地震は何者か - 震度インバージョンに基づく過去の宮城県沖地震との比較 -	° 神田 克久・武村 雅之(鹿島小堀研)
PM11	2005年宮城県沖の地震に伴う地殻変動と断層モデル	国土地理院地理地殻活動研究センター・測地観測センター・測地部(発表責任者:今給黎哲郎)

PM12	2005年8月16日宮城県沖地震(M7.2)に伴った地殻変動	°三浦 哲・油井智史・長谷川 昭・佐藤俊也・立花憲司(東北大・院理)
PM13	GPSによって観測された宮城県沖の地震に伴う地震時および地震後の地殻変動	°宮崎真一・加藤照之・瀨藤一起・福田淳一(東大地震研)
PM14	2005年8月宮城県沖地震前後の海底地殻変動観測結果(速報)	°藤田雅之・石川直史・松本良浩・望月将志・矢吹哲一朗・浅田 昭(海上保安庁)
PM15	2005年宮城県沖地震前後における海底地殻変動観測	°長田幸仁・水上知子・対馬弘晃・荻原康平・本堂周作・柳沼直・西野実・三浦哲・藤本博巳(東北大観測セ)
PM16	地震波形インバージョンによる2005年宮城県沖の地震(M7.2)のアスペリティの推定	°柳沼直・岡田知己・海野徳仁・長谷川昭(東北大)
PM17	2.5次元差分法で探る2005年宮城県沖の地震の震源過程	°岡元太郎(東工大)・竹中博士(九州大)
PM18	強震記録から推定した2005年宮城県沖の地震の震源過程	°浅野公之・鈴木 亘・岩田知孝(京大防災研)
PM19	近地強震動記録による2005年8月16日宮城県沖地震(M7.2)の震源過程	°関口春子(産総研)・青井真・藤原広行(防災科研)
PM20	強震波形記録による2005年・1978年宮城県沖地震の震源過程	°呉長江・瀨藤一起(東大地震研)
PM21	岐阜県東濃、深部ボアホール観測による宮城県沖の地震	°大久保慎人・浅井康広・石井紘・青木治三・鈴木貞臣(東濃地震科学研)
PM22	K-NET、KiK-net で観測された2005年8月16日宮城県沖の地震の強震動	°森川信之・功刀卓・安達繁樹・小林京子・河合伸一・青井真・藤原広行(防災科研)
PM23	2005年8月16日の宮城県沖の地震の観測記録と距離減衰式の比較	°神野達夫(広島大)・森川信之(防災科研)・成田 章(三菱スペース・ソフトウェア)・藤原広行(防災科研)・福島美光(清水建設)
PM24	2005年8月16日の宮城県沖の地震の短周期レベルと強震観測点での地盤増幅特性	°佐藤智美(清水建設)
PM25	Comparison of nonlinear site response from the two large 2003 and 2005 Miyagi-oki earthquakes	°津田健一・Jamison Steidl (California Univ.)
PM26	2005年8月16日宮城県沖の地震(M7.2)の高周波エンベロープ・インバージョン解析(序報)	°中原恒・澤崎郁(東北大院理)
PM27	震源域近傍の強震計アレイにより記録された2005年8月16日宮城県沖の地震(M7.2)の強震動	°中原恒・澤崎郁・西村太志・佐藤春夫(東北大院理)・藤原広行(防災科研)
PM28	2005年8月16日の宮城県沖の地震による関東地方の大揺れと東日本広域の地震動シミュレーション	°早川俊彦・古村孝志(東大地震研)
PM29	津波波形から推定される2005年宮城県沖地震のすべり量分布	°谷岡勇市郎(北大センター)・長谷川洋平(気象研)・桑山辰夫(気象庁)
PM30	2005年8月16日の宮城県沖の地震に伴った津波の観測波形と種々の断層モデルによる数値計算波形	°長谷川洋平(気象研)・桑山辰夫(気象庁)・谷岡勇市郎(北大地震センター)・山中佳子(東大地震研)・吉田康宏・岡田正實・林 豊(気象研)
PM31	宇宙から見た雲のさざ波状構造による直前地震予知 -2005.8.16宮城県沖M7.2の場合-	°宇田進一
PM32	中波帯ノイズによる直前地震予知 -2005.8.16宮城県沖M7.2-	°松永昌太・宇田進一・熊谷 卓

10月21日(金) 9:00~12:24 A会場

学校教育と知識普及(A068)

沈み込み帯の超巨大地震ースマトラ型の巨大地震は日本周辺でも発生するか？(A069~A084)

(講演時間10分・質疑応答2分; A035, A045は講演時間12分・質疑応答3分)

座長 佐竹健治・谷岡勇市郎・池田安隆・平川一臣

9:00	A068	ニュージーランドと日本との地震教育に関する比較	°根本泰雄(阪市大院理)・藤岡達也(上越教育大)
9:12	A069	沈み込み帯における超巨大地震	°佐竹健治(産総研活断層)・池田安隆(東大地球惑星)・平川一臣(北大地球環境)・谷岡勇市郎(北大地震火山)
9:24	A070	日本列島傾斜計アレイでみた2004年スマトラ沖地震破壊伝播	°綿田辰吾(東大地震研)・功刀卓(防災科研)
9:36	A071	海底地震観測に基づく2004年スマトラ・アンダマン地震震源域の余震分布	°荒木英一郎(JAMSTEC)・篠原雅尚(東大地震研)・尾鼻浩一郎(JAMSTEC)・山田知朗(東大地震研)・金田義行(JAMSTEC)・金澤敏彦(東大地震研)・末廣潔(JAMSTEC)
9:48	A072	ミャンマーのアンダマン海沿岸における2004年12月スマトラ・アンダマン地震の津波波高調査	佐竹健治・°Than Tin AUNG・澤井祐紀・岡村行信(産総研活断層)・Kyaw Soe Win(名大環境学)・Win Swe(Myanmar Geoscience Soc)・Chit Swe・Tint Lwin Swe(Yangon Tech Univ)・Soe Thura Tun(Univ Yangon)・Maung Maung Soe・Thant Zin Oo(Dept Meteorology and Hydrology)・Saw Htwe Zaw(Myanmar Engin Soc)
10:00	A073	津波波形インバージョンによって推定された2004年スマトラ・アンダマン地震の破壊過程	°谷岡勇市郎・西村裕一・楠瀬友洋(北大センター)・Yudhicara(BIT)・S. Kathioli(NIOT)・岩崎伸一(防災科研)・佐竹健治(産総研)
10:12	A074	津波波形記録と人工衛星データから求めた2004年スマトラ・アンダマン地震の津波波源モデル	°藤井雄士郎・佐竹健治(産総研活断層)
10:24	A075	Slip Distribution of the Mw 9.0 Great Sumatra-Andaman Earthquake from Campaign GPS Observation	°Meilano Irwan・太田雄策・伊藤武男・木股文昭(名大環境)・田部井隆雄(高知大理)・Hasanuddin Z. Abidin・Dudy Darmawan・Heri Andreas・Mipi Anata(ITB)・Didik Suharyadi(UNSYIAH)・Agustan・Rahadian(BPPT)
10:36	A076	GPS連続データに基づく2004年スマトラ・アンダマン地震に伴うスマトラ島北部における余効変動のモデル化	°太田雄策・Meilano Irwan・伊藤武男・木股文昭(名大環境)・田部井隆雄(高知大理)・Didik Sugiyanto(シアクラ大)・加藤照之(東大地震研)
10:48	A077	GPS連続観測で得られたスマトラ地震に伴う地殻変動	°橋本学(京大防災研)・Nithiwatthn Chhoosakul・橋爪道郎(チュラロンコン大理)・竹本修三・瀧口博士・福田洋一・藤森邦夫(京大院理)
11:00	A078	衛星レーダー画像による2004年・2005年スマトラ地震に伴う隆起・沈降	°飛田幹男・水藤尚・今給黎哲郎・加藤敏・西村卓也・藤原智・村上亮(国土地理院)
11:12	A079	アンダマン諸島における2004年地震隆起とその履歴	°茅根 創・池田安隆・越後智雄(東大理)・宍倉正展・鎌滝孝信(産総研)
11:24	A080	東北日本弧の歪み蓄積過程とハルマゲドン地震	°池田安隆(東大理)
11:36	A081	北海道太平洋沿岸を襲う500年間隔の巨大津波	°平川一臣・中村有吾(北大地球環境)・西村裕一(北大地震火山)
11:48	A082	津波堆積物の内部構造から推定される津波の特徴	°藤原 治・鎌滝孝信(産総研活断層)・平川一臣(北大地球環境)・入月俊明(島根大総合理工)・阿部恒平(筑波大・院)・内田淳一・長谷川

			四郎(熊大・院)
12:00	A083	仙台平野の古津波	°岡村行信・澤井祐紀・宍倉正展・鎌滝孝信・佐竹健治・藤原 治・小松原純子・藤井雄士郎(産総研活断層)
12:12	A084	チリ中南部における津波堆積物と古地震調査	°鎌滝孝信・宍倉正展・澤井祐紀・佐竹健治(産総研活断層)・Marco CISTERNAS(チリ パルパライソ大)・Brian ATWATER(米国地調)

10月21日(金) 9:00~12:24 B会場

強震動・地震災害(B071~B087)

(講演時間10分・質疑応答2分)

座長 増田徹・山中浩明・森川信之

9:00	B071	愛知工業大学地震防災コンソシアムのプロジェクト構想	°愛知工業大学地震防災コンソシアム代表者正木和明(愛知工業大)
9:12	B072	フリーエ位相に非線形項を考慮した全域通過関数の時刻歴特性	°白井克弘・大町達夫(東京工業大学)
9:24	B073	フィリピン海プレートの地震による加速度波形の散乱理論に基づくエンベロープモデル	°佐藤智美(清水建設技研)
9:36	B074	紀伊半島南東沖地震時の表層飽和地盤の間隙水圧応答	°郷隆之・松波孝治・釜井俊孝・中村正夫(京大防災研)
9:48	B075	福岡市天神地区における2005年福岡県西方沖地震の余震観測	°山中浩明・元木健太郎・瀬尾和大(東工大総合理工)・川瀬 博(九大人間環境)
10:00	B076	福岡県西方沖の地震の余震観測に基づく地盤増幅特性と建物被害分布の関係	°元木健太郎・山中浩明・瀬尾和大(東京工業大)
10:12	B077	トルコ・アダパザル盆地に於けるFEMを用いた3次元地震動シミュレーション	°津野靖士(東大院工)・工藤一嘉(東大地震研)・Jacob Bielak(Carnegie Mellon Univ.)
10:24	B078	Site Response Predictability Estimation of Spatial Variation of Site Response around Sendai City, Japan	°津田 健一・Ralph Archuleta・Jamison Steidl(California Santa Barbara Univ.)
10:36	B079	2004年新潟県中越地震の強震動記録のスペクトル比インバージョンと250mメッシュVs30マップに基づくサイト増幅特性と地震動評価	°プリード ネルソン・松岡昌志(防災科研)
10:48	B080	地震動の距離減衰	°増田徹・引間和人(応用地質)
11:00	B081	2004年新潟県中越地震および余震の観測記録にみられるHanging-wall効果	°司 宏俊(構造計画研)・翠川 三郎(東京工業大)
11:12	B082	全国を概観した確率論的地震動予測地図における内陸浅発地震の活動モデル	°奥村俊彦(清水建設)・藤原広行(防災科研)
11:24	B083	震源が特定された地震の地震動振幅のばらつき一観測記録に基づく検討一	°森川信之(防災科研)・神野達夫(広島大)・成田章(三菱スペースソフトウェア)・藤原広行(防災科研)・奥村俊彦・福島美光(清水建設)
11:36	B084	断層破壊過程の複雑さが強震動予測結果に及ぼす影響 一支配的パラメータの抽出一	°渡辺基史(清水建設技研)・藤原広行(防災科研)・佐藤俊明・石井 透・早川 崇(清水建設技研)
11:48	B085	地震動予測におけるバラツキの検討	°山田雅行(ニュージェック)・先名重樹・藤原広行(防災科研)
12:00	B086	Curveletを用いた地震波伝播作用素の高速解法に関する理論的検討	°藤原広行(防災科研)
12:12	B087	中央構造線断層帯を対象とした地震動予測地図作成手法の検討	°石井 透・藤原広行・早川 讓(防災科研)・佐藤俊明(大崎総研)・花村正樹(清水建設)

10月21日(金) 9:00~12:24 C会場
活断層と古地震, 地球及び惑星の深部構造と物性(C071~C087)
(講演時間10分・質疑応答2分)
座長 吾妻 崇・小村健太郎・趙大鵬

9:00	C071	元禄十六年(1703)南関東地震のピンポイント詳細震度分布	°伊藤純一・都司嘉宣(東大地震研)・上田和枝
9:12	C072	1891年濃尾地震の地震モーメントの推定	°福山 英一(防災科研)・三雲 健(メキシコ自治大)・村松郁栄(岐阜大名誉教授)
9:24	C073	2004年中越地震による地表変状の分類	°金 幸隆・島崎邦彦(東大地震研)
9:36	C074	黒松内低地断層帯の活動時期と平均活動間隔	°吾妻 崇(産総研活断層)・後藤秀昭(福島大)・奥村晃史(広島大)・寒川 旭(産総研活断層)
9:48	C075	2005年福岡県西方沖地震震源域におけるマルチ・チャンネル反射法地震探査	°阿部信太郎・青柳恭平・宮腰勝義・井上大栄(電中研)・岡田篤正(京大)
10:00	C076	「石垣島東方沖断層」の精密地形と活動度	°松本 剛・中村 衛・新城竜一・木村政昭・小野朋典(琉球大理)・藤井輝夫(東大生産研)
10:12	C077	掘削コアの原位置非破壊計測および孔内検層による台湾Chelungpu断層の含水分布の特徴	°林 為人・葉 恩肇・廣野哲朗・徐 垣・木下正高・伊藤久男(JAMSTEC)・前村庸之(ダイヤモンドコンサル)
10:24	C078	台湾チェルンプ断層掘削の概要および高知コアセンターにおける掘削コア試料の非破壊連続物性計測の速報	°廣野哲朗・林為人・Eh-Chao Yeh・徐垣(IFREE/JAMSTEC)・橋本喜孝(高知大)・伊藤久男・青池寛(CDEX/JAMSTEC)・曾根大貴(京都大)・松林修(AIST)・村山雅史(高知大)
10:36	C079	跡津川断層に沿った地下浅部比抵抗構造の変化ークリープ域と固着域におけるAMT探査ー	°小村健太郎・山田隆二・山下太(防災科研)・上原大二郎(住鉱コンサル)
10:48	C080	レシーバ関数による日本列島下の上部マントル構造推定ー高感度加速度計記録を用いてー	°利根川貴志(名大)・平原和朗(京大)・澁谷拓郎(京大)・汐見勝彦(防災科研)
11:00	C081	太平洋スラブ沈み込みの一生: 日本海溝からCMBまで	°趙大鵬・王志・雷建設・鄭斯華・山田朗(愛媛大地球深部)
11:12	C082	Deep structure of the Japan Island estimated from the joint inversion of local and teleseismic events	°Mohamed Farouk ABDELWAHED・Dapeng ZHAO(愛媛大学GRC)
11:24	C083	有限波長トモグラフィー法による日本下の上部マントル構造解析	°山本啓二・趙大鵬(愛媛大GRC)
11:36	C084	BBOBSを用いた南太平洋大海膨の3次元上部マントルS波速度構造	°一瀬建日・末次大輔(IFREE)・塩原肇(東大地震研/IFREE)・杉岡裕子(IFREE)・吉澤和範(北大理)・金沢敏彦(東大地震研)・深尾良夫(IFREE)
11:48	C085	ポリネシアBBOBS観測による南太平洋大海膨マントル不連続面の深さ推定	°末次大輔(IFREE/JAMSTEC)・塩原肇(東大地震研)・杉岡裕子(IFREE/JAMSTEC)・金沢敏彦(東大地震研)・深尾良夫(IFREE/JAMSTEC)
12:00	C086	バイカルリフト帯下の上部マントル構造	°井上智史・雷建設・山田朗・趙大鵬(愛媛大GRC)
12:12	C087	オーストラリア大陸下の3次元SH波及びSV波速度構造と偏向異方性	°吉澤 和範(北大理)・B.L.N. ケネット(オーストラリア国立大)

10月21日(金) 14:30~17:18 A会場
津波, テクトニクス(A085~A098)
(講演時間10分・質疑応答2分)
座長 行谷佑一・楠瀬友洋・橋本千尋

14:30	A085	2004年スマトラ沖地震津波の規模と屈折効果	°羽鳥徳太郎
14:42	A086	衛星画像で解析したインドネシア・Banda Aceh市のインド洋津波(2004)による流失家屋の分布	°行谷佑一・都司嘉宣(東大地震研)
14:54	A087	目撃証言に基づくスリランカにおけるインド洋津波の到達時刻	井上修作・Anil C. Wijeyewickrema・関口徹・三浦弘之(東工大)・松本浩幸(海洋機構)・岩崎伸一(防災科研)・Priyantha Gunaratna・Manoj Madurapperuma (Moratuwa Univ.)
15:06	A088	湾や港における静穏時卓越周期の津波時出現率—北海道北部での検証	°阿部邦昭(日本歯科大新潟短大)
15:18	A089	津波と地殻変動から推定される2004年紀伊半島南東沖地震(Mw 7.3, 7.5)の断層すべり量分布	°楠瀬友洋・谷岡勇市郎(北大センター)・佐竹健治(産総研活断層)・馬場俊孝・平田賢治(海洋研究開発機構)・岩崎伸一(防災科研)・加藤照之(東大地震研)・越村俊一(東北大)・長谷川洋平(気象研)・今給黎哲郎(国土地理院)
15:30	A090	南海巨大地震による東シナ海の津波のシミュレーション:上海を津波が襲うか?	°原田智也(神戸大院自然)・石橋克彦(神戸大都市安全)
15:42	A091	数値シミュレーションによる1771年八重山地震津波の断層の検討	°中村衛(琉球大理)
15:54	A092	なぜフィリピン海プレートのオイラー極は3Maに移動したのか?	°高橋 雅紀(産総研地質)
16:06	A093	伊豆衝突帯の構造と地震テクトニクス	°石川正弘(横浜国大環境情報)
16:18	A094	台湾地域における衝突の再評価	°川西圭景・瀬野徹三(東大地震研)
16:30	A095	造構性浸食を伴うプレート沈み込みのシミュレーション:東北日本の現在の隆起・沈降	°橋本千尋(東大理)・佐藤利典(千葉大理)・松浦充宏(東大理)
16:42	A096	プレート運動の対流モデル	°高久 真生(東大地震研, JAMSTEC)・深尾 良夫(JAMSTEC, 東大地震研)
16:54	A097	日本周辺のプレート間カップリング地帯	°石川有三(気象庁精密地震観測室)
17:06	A098	首都圏下のプレート境界面に関する考察	°江口孝雄(防衛大地球海洋学科)

10月21日(金) 14:30~17:30 B会場
強震動・地震災害(B088~B102)
(講演時間10分・質疑応答2分)
座長 古村孝志・植竹富一・久田嘉章

14:30	B088	2004年紀伊半島南東沖の地震の強震動シミュレーション(その2) — 海域構造が励起する長周期地震動 —	°早川俊彦・古村孝志(東大地震研)・馬場俊孝(IFREE, JAMSTEC)
14:42	B089	海溝型地震による長周期地震動(2):伝播経路での発達過程	°池上泰史(東大地震研/GRCソリューションズ)・瀬藤一起・三宅弘恵(東大地震研)
14:54	B090	伝播経路の不均質性および堆積層Q値が長周期地震動評価に与える影響の検討	°土方勝一郎・植竹富一・金谷淳二(東京電力)・真下貢(東電設計)・早川崇・渡辺基史・佐藤俊明(大崎総研)
15:06	B091	特性化震源モデルによる1994年三陸はるか沖地震の強震動の再現	°宮腰淳一・壇一男(清水建設技研)・岡崎敦(関西電力)
15:18	B092	2005年福岡県西方沖地震・玄界島の強震動再現:経験的グリーン関数法による広帯域強震動シミュレーション	°三宅弘恵・田中康久・坂上 実・瀬藤一起(東大地震研)・石垣祐三(気象庁)
15:30	B093	強震観測記録から描く2005年福岡県西方沖地震の断層面と主破壊の開始点	竹中博士・山本容維・中村武史・豊国源知(九大・理)・川瀬 博(九大・人環)・大島光貴(九大・理)

15:42	B094	内陸地震による強震動予測のための断層長さ と変位量との経験的關係	◦ 壇 一男(大崎総研)・川里 健(日本原子力発 電)
15:54	B095	2005年福岡県西方沖地震の震源時間関数の 非線形インバージョン及びDc推測値への影響	◦ 吳長江・瀨瀬一起
16:06	B096	動力的震源モデルに基づく強震動予測(2) 地表および地中断層地震の震源のモデル化と 強震動評価	◦ 入倉孝次郎(京大)・三宅弘恵(東大地震研)・ Luis A. Dalguer (San Diego State Univ.)・松島信 一・壇一男・佐藤俊明(大崎総研)・香川敬生 (地域地盤財団)
16:18	B097	1894年明治東京地震の強震動と震源像	◦ 古村孝志・室谷智子(東大地震研)・中村操 (防災情報サービス)
16:30	B098	1938年福島県沖スラブ内大地震の震源特性	◦ 植竹富一・土方勝一郎・金谷淳二(東京電 力)・加藤研一(鹿島小堀研)・中村操(防災情 報サービス)
16:42	B099	19世紀以降のM7クラスの芸予地震と豊後水道 の地震の震度分布の比較	◦ 高橋利昌・浅野彰洋・大内泰志(四国電力) 神 田克久・武村雅之(鹿島小堀研)・宇佐美龍夫
16:54	B100	19世紀以降のM7クラスの芸予地震と豊後水道 の地震の震度インバージョン解析による地震 規模評価	◦ 神田克久・武村雅之(鹿島小堀研)・高橋利 昌・浅野彰洋・大内泰志(四国電力)・宇佐美龍 夫
17:06	B101	エンベロープ・インバージョン解析により明らか になった高周波地震波エネルギー輻射の統計 的特徴	◦ 中原 恒(東北大院理)
17:18	B102	統計的震源モデルによる強震動シミュレーシ ョン手法の長周期帯域および平行成層地盤へ の拡張	◦ 久田嘉章(工学院大学)

10月21日(金) 14:30~17:30 C会場
地球及び惑星の深部構造と物性, 地震計測・処理システム(C088~C102)
(講演時間10分・質疑応答2分)
座長 勝間田明男・鷹野 澄・原 辰彦

14:30	C088	南極海の下の最下部マントルにおけるS波速 度異方性と速度不連続面	◦ 臼井佑介・平松良浩・古本宗充(金沢大・自 然)
14:42	C089	最下部マントル超低速度層の物理学的制約条 件	◦ 出原光暉・山田朗・趙大鵬(愛媛大)
14:54	C090	SmKS波の重合から推定した外核最上部の地 震波速度構造	◦ 田中 聡(東北大院理)
15:06	C091	A new insight into the mantle plume under the Hawaiian hotspot	◦ 雷建設, 趙大鵬
15:18	C092	波形インバージョンによるD"層の微細構造推 定: 解像度の評価	◦ 河合研志(東大理)・竹内希(東大地震研)・ゲ ラー ロバート(東大理)
15:30	C093	波長スイープ式マイケルソン干渉計による絶対 長測定に関する検討	◦ 勝間田 明男・山本 剛靖(気象研究所)・吉川 澄夫・濱田 信生(気象庁)
15:42	C094	加速器SPring8のリング1.4kmの周長変化を用 いた0.2Hz脈動による歪み測定	◦ 松井佐久夫・伊達伸(高輝度光科学研究セン ター)・川崎一朗(京大防災研)
15:54	C095	相模湾初島沖海底における音響周囲雑音の 特徴	◦ 岩瀬良一・菊池年晃・土屋利雄(JAMSTEC)・ 水谷孝一(筑波大院)
16:06	C096	衛星搭載マイクロ波放射計を用いた地震・火 山噴火検出システム	◦ 前田 崇(東大工)・高野 忠(ISAS, JAXA)・今岡 啓治(EORC, JAXA)
16:18	C097	インドネシアにおける衛星テレメータ広帯域地 震観測(序報)	◦ 井上公・宮川幸治・山品匡史・根岸弘明・熊谷 博之・石田瑞穂(防災科研)・小泉岳司(気象 庁)・ファウジ・プリハルジャディ(インドネシア気 象庁)

16:30	C098	超高速ネットワークJGN IIによるリアルタイム地震波形データ交換システムの構築実験	鷹野澄・ト部卓・鶴岡弘・中川茂樹(東大地震研)・三浦哲・松澤暢・岡田知己・中島淳一・中山貴史・平原聡(東北大院理)・伊藤武男(名大院環境)・大見士朗(京大防災研)・植平賢司・松島健(九大院理)
16:42	C099	地震臨時観測用低消費電力データロガーの開発	政所茜・山内常生(名古屋大学)・藤井巖(東濃地震科学研)
16:54	C100	建物用IT強震計システム	鷹野澄(東大地震研)・伊藤貴盛(応用地震計測)
17:06	C101	Source-Scanning Algorithm による深部低周波イベント震源域のイメージング	大見士朗(京大防災研)・Honn KAO (GSC)
17:18	C102	P波の高周波震動継続時間を使った震源時間の推定	原辰彦(建築研究所)

10月21日(金) 13:30~14:30 ポスター会場
ポスターセッション(P157~P252)

地盤構造・地盤震動

P157	地質学的基盤地震動から工学的基盤地震動への変換特性	° 木下繁夫(横浜市大)・和田安司(三菱スペースソフトウェア)
P158	Natural frequencies of the sedimentary cover in Istanbul from weak-motion records and microtremor measurements	° Ozel, O.・Birgoren, G. (Bogazici Univ.)
P159	微動を用いたトルコ・アダパザル盆地の3次元S波速度構造の推定	° 津野靖士(東大院工)・工藤一嘉(東大地震研)・笹谷努(北大院理)・Oguz Ozel(Bogazici Univ.)・神野達夫(広島大院工)
P160	強震記録に基づく岩盤サイトの地震応答の検証	° 野口科子(気象庁)・前田宜浩・笹谷努(北大理学研)
P161	十勝支庁豊頃町における微動アレー観測による地下構造の推定	° 高井伸雄(北大・工)・清水学(福島県庁)・前田宣浩・新屋雅之(北大・理)・三輪田吾郎(北大・工)・斎藤誠治(ドーコン)・笹谷努(北大・理)
P162	2003年十勝沖地震の余震記録を用いたS波スペクトルインバージョンによる十勝平野南部の地盤増幅特性	° 太田原薫・山中浩明・元木健太郎(東工大総合理工)・笹谷努(北大理)・高井伸雄(北大工)
P163	石狩湾新港近辺における微動アレー観測	° 吉田邦一(産総研活断層)・笹谷努・前田宜浩(北大・理)・高井伸雄・三輪田吾郎・大畑大志郎・Dhakal Yadab Prasad(北大・工)・Fat-Helbary Raafat El-Shafei(エジプト・アスワン地震研)
P164	八戸市内の地盤構造と2003年宮城県沖の地震(M7.0)の震度分布について	° 坂尻直巳(八戸工大)
P165	つくば地域における広帯域微動探査(1) 拡張Henstridge法の大円形アレイ適用性の検討—SN比評価法を中心に—	° 長 郁夫(産総研)・多田 卓・西本幸平・篠崎祐三・中村竜平(東京理科大・工)
P166	つくば地域における広帯域微動探査(2) 中小円形アレイデータの解析—SPAC法を中心に—	° 西本幸平(東京理科大・工)・長 郁夫(産総研)・多田 卓・篠崎祐三・中村竜平(東京理科大・工)
P167	Dominant periods of long-period ground motion in Kanto basin obtained by H/V spectral ratios of seismic records	° Hugo CRUZ・Takashi FURUMURA(ERI)
P168	関東直下の地震と震度分布の異常	° 竹内宏之・古村孝志(東大地震研)
P169	Estimation of Site Response at Kanto Area By Use of the Data from SK-net	° 津田健一・Ralph Archuleta (California Univ.), 久田嘉章(工学院大学)
P170	やや長周期地震動シミュレーション用の 関東平野北西部の地下構造モデルの再構築	° 山田伸之(中央開発)・山中浩明(東京工業大学)
P171	足柄平野における上下動の生成・伝播	° 植竹富一(東京電力)
P172	2005年8月11日長野県白馬岳土砂崩壊でのHi-netデータ解析 -土砂崩壊検知への応用-	° 大角恒雄・小原大輔・秦吉弥(日本工営中央研), 浅原 裕(先端力学シミュレーション研)
P173	新潟平野地域の予察的な3次元地下構造モデル	° 鈴木晴彦・森野道夫・岩本鋼司・劉 瑛(応用地質)・藤原広行・早川 譲(防災科研)
P174	重力探査を用いた新潟県中越地震被害地域における重力基盤の推定	° 高橋 千佳・盛川 仁(東京工業大学)
P175	2004年新潟県中越地震震源域の強震観測点におけるサイト特性評価	° 森勇人・岩田知孝(京大防災研)
P176	新潟平野を対象としたやや長周期微動のアレー観測	° 佐藤浩章・東貞成・佐藤清隆(電力中央研究所)

P177	小千谷市街地付近のP波・S波反射法探査と地下構造モデル構築	° 古村孝志・三宅弘恵・瀨瀬一起(東大地震研), 須田茂幸・川崎慎治(地球科学総合研)
P178	強震動波形を用いたレシーバ関数による濃尾・伊勢平野の基盤・堆積構造解析	° 鈴木和美(名大院環境) 平原和朗(京大院理)
P179	中央構造線断層帯周辺地域における強震動予測のための深部地下構造モデルの作成	° 岩本鋼司・鈴木晴彦・森野道夫・篠原秀明(応用地質)・藤原広行・早川 讓(防災科研)
P180	日向灘地震を想定した地域における強震動予測のための深部地下構造モデルの作成	° 岩本鋼司・鈴木晴彦・篠原秀明(応用地質)・藤原広行・早川 讓(防災科研)
P181	大阪平野における2004年紀伊半島南東沖の地震の長周期地震動特性	° 赤澤隆士(地盤研究財団)
P182	KiK-net強震観測記録を用いたサイト増幅効果の見積もり	° 林田拓己・田島文子(広島大・院理)
P183	Kik-net データのキャリブレーション: Hi-net データによる震度決定の活用に向けて	° 田島文子・林田拓己(広島大・院理)・堀内茂木・山本俊六・根岸弘明(防災科研)・ト部 卓・鶴岡弘(東大地震研)

強震動・地震災害

P184	加速度計による長周期地震動観測	° 功刀 卓・藤原広行・青井 真・安達繁樹(防災科研)
P185	京都大学百周年時計台記念館における強震観測	° 岩田知孝(京大防災研)
P186	ウェーブレット解析による広帯域強震動放射過程推定の試み	° 鈴木亘・岩田知孝(京大防災研)
P187	Walsh関数を用いたマルチスケール法による動力学的震源インバージョン解析	° 後藤浩之・澤田純男(京大防災研)
P188	経験的グリーン関数を用いた広帯域震源インバージョンによるすべり速度の推定	° 浅野公之・岩田知孝(京大防災研)
P189	強震動シミュレーションのための滑り速度時間関数近似式: 新潟県中越地震への応用?その2	° 宮武隆・木村武志・安田拓美(東大地震研)
P190	Forward directivity pulse の評価を目的とした震源のモデル化	° 引田智樹・池浦友則(鹿島技研)
P191	大地震と小地震の高域遮断フィルターについて	° 鶴来雅人・香川敬生(地域地盤環境研)・入倉孝次郎(京大)
P192	スラブ内地震のアスペリティモデル(3)	° 笹谷 努(北大理学研)・森川信之(防災科研)・前田宜浩(北大理学研)
P193	北海道における内陸地震による強震動の研究	° 前田宜浩・新屋雅之・笹谷努(北大理)
P194	Strong ground motion simulation of the 2005 Fukuoka earthquake by the finite fault stochastic modeling technique	モスタファ サイド・° 大島光貴・竹中博士(九大・理)・川瀬 博(九大・人環)・中村武史(九大・理)
P195	経験的グリーン関数法による2004年新潟県中越地震の震源域での強震動評価	° 松島信一・神原浩(清水建設技研)・工藤一嘉(東大地震研)
P196	2004年新潟県中越地震の震源における広帯域地震動生成過程	° 芝 良昭(電力中央研究所)
P197	フィリピン海プレートの沈み込み帯を形成する紀伊半島 セグメントにおける距離減衰に関する研究	° PETUKHIN Anatoly・香川敬生(地盤研究財団)
P198	スラブ内地震による強震動と島弧の構造: 数値シミュレーションによる2003年宮城県沖地震による強震動の検討	° 西條裕介(神戸大院自然科学)・笥楽磨(神戸大理)
P199	最近の震度データを含めた三次元減衰構造インバージョン	° 中村亮一(東電設計)
P200	震源インバージョン結果に基づいた摩擦構成則の推定	° 宮腰研(地盤研究財団)・長郁夫(産総研)・堀家正則(大工大)
P201	大阪堆積盆地内で励起される表面波の卓越周期	° 宮腰研・大西良広・赤澤隆士(地盤研究財団)・堀家正則(大工大)・西村利光

P202	大阪地域における高周波エンベロープの経時特性	°堀川晴央・関口春子・吉見雅行・吉田邦一(産総研活断層)
P203	大阪平野における後続波群の減衰特性について	°香川敬生(地盤研究財団)
P204	大阪地域における小地震の距離減衰特性について	°香川敬生(地盤研究財団)
P205	想定東南海・南海地震時における長周期地震動予測の高度化	°川辺秀憲・釜江克宏(京大原子炉)
P206	想定南海地震による大阪堆積盆地での地震動の予測	°吉見雅行・関口春子・堀川晴央・吉田邦一(産総研活断層)
P207	首都圏の強震動評価:1923年関東地震の地震動シミュレーション	°田中康久(東大地震研)・池上泰史(東大地震研,CRCソリューションズ)・小林励司・三宅弘恵・瀧一(東大地震研)
P208	被災体験の絵画化から明らかになってきた1945年三河地震の災害直後対応	°林能成・木村玲欧(名大災害対策室)・阪野智啓・藤田哲也(愛知県立芸術大)
P209	愛知工業大学地震防災コンソシアムにおける企業地震防災システム(第1フェーズ)の開発	°伊藤貴盛・小出栄治(応用地震計測)・林能成(名大)・國澤和義・落合鋭充(ファルコン)・正木和明・廣内大助(愛知工大)
P210	経年劣化を考慮した木造建物の被害率曲線	°大西良広・村上貴志(地盤研究財団)

地震計測・処理システム

P211	PCを用いた低速サンプリングデータ伝送システムの開発	°三浦 哲(東北大・院理)・小澤哲也(東北大・電通研)・立花 憲司・佐藤 俊也(東北大・院理)
P212	東海道新幹線の新しい早期地震警報システムの構築	°他谷周一、中嶋繁、荒鹿忠義(JR東海)
P213	海底における地層変形および地震モニタリングシステムの開発	内山成和・°横山幸也・斉藤秀樹(応用地質)

沈み込み帯の超巨大地震—スマトラ型の巨大地震は日本周辺でも発生するか？

P214	2004年スマトラ島沖地震は津波地震か？	°瀬野徹三(東大地震研)
P215	2004年スマトラ・アンダマン地震震源域における海底での加速度計を用いた地震記録	°篠原雅尚・金沢敏彦・山田知朗
P216	気象庁の歪計から見た2004年スマトラ島沖地震の破壊過程	°吉田康宏(気象研究所)
P217	2004年12月26日スマトラ地震時のGPS連続観測データのキネマティック解析	°橋本学・佐藤一敏(京大防災研)・橋爪道郎・Nithiwatthn CHHOOSAKUL(チュラロンコン大理)・瀧口博士・竹本修三・福田洋一・藤森邦夫(京大院理)・宮崎真一(東大地震研)
P218	北海道東部太平洋沿岸の堆積物に記録された17世紀の巨大地震とその余効変動	°澤井祐紀・佐竹健治・鎌滝孝信・宍倉正展(産総研活断層)・那須浩郎(日文研)
P219	北海道東部・霧多布湿原の離水海岸地形に記録された500年間隔でくり返す巨大地震の隆起	°宍倉正展・澤井祐紀・鎌滝孝信・佐竹健治・岡村行信(産総研活断層)・那須浩郎(日文研)・松本 弾(京大・院)
P220	海底コアによる根室—十勝沖海域の地震活動履歴の推測	°野田篤・辻野匠(産総研地質情報)・佐竹健治・岡村行信(産総研活断層)・池原研・荒井晃作(産総研地質情報)・佐々木智之(東大工)
P221	1952年および2003年十勝沖地震と地質構造との比較	°辻野匠(産総研地質)・岡村行信(産総研活断層)・荒井晃作(産総研地質)・佐竹健治(産総研活断層)・野田篤・池原研(産総研地質)・佐々木智之(東大工学系)
P222	Locating suboceanic earthquakes: Method and application to the Pacific off Kanto district, Japan	°王志・趙大鵬(愛媛大地球深部)
P223	南海トラフ沿岸域の津波堆積物	°小松原純子・藤原 治・鎌滝孝信(産総研活断層)

P224	沿岸域に形成された津波堆積物の特徴	° 鎌滝孝信・澤井祐紀・宍倉正展・佐竹健治・岡村行信(産総研活断層)・西村裕一(北大地震火山セ)
------	-------------------	--

活断層と古地震

P225	北海道北部天塩断層帯と周辺地域における第四紀後期の地殻短縮変動量の試算	° 越後智雄・小田晋・岡田真介(東大理)・木村治夫(東大地震研)・森下信人(東北大理)
P226	甲府盆地南縁, 曾根丘陵断層帯の完新世の活動に関連する変位地形	° 丸山 正(産総研活断層)
P227	糸魚川-静岡構造線断層帯・松本盆地東縁断層に沿う左横ずれ変位地形の予察的検討	° 近藤久雄・遠田晋次(産総研活断層)・奥村晃史(広島大)
P228	阿寺断層系中部の断層構造とその活動性	° 廣内大助(愛知工業大)・安江健一(サイクル開発機構)・道家涼介・前川拓哉(富山大)・佐藤善輝(名古屋大)・倉橋奨(愛知工業大)・平松孝晋(アジア航測)
P229	伊那谷断層帯北部における反射法地震探査	° 小田 晋・池田安隆・越後智雄・岡田真介(東大理)・戸田 茂・鈴木規眞・河合陽平・天野桂悟・高木啓司・加藤義人(愛教大)・石山達也(産総研)・今泉俊文・楳原京子(東北大)・加藤 一(山梨大)・松多信尚(台湾大)・田力正好(地震研)・内田拓馬・宇野智樹(千葉大)・佐藤 良(ジオシス)
P230	伊予灘中央構造線活断層系における各種物理探査	° 大野裕記・西坂直樹(四国電力)・池田倫治・小林修二(四国総合研究所)・長谷川正・村岡淳(総合地質調査)・長谷川修一・松島学(香川大)・瀬川爾朗(東京海洋大)
P231	玄界島沖でのサイドスキャンソナーによる海底面探査(1997年~1998年)	° 田中章夫(応用地質)・林田憲三・石原渉(アジア水中考古研)・西谷正(伊都国歴史博物館)
P232	歴史地震の震源域位置および規模の系統的再検討—第7報—(文政近江の地震など)	° 松浦律子(地震予知振興会)・中村操・唐鎌郁夫・茅野一郎(防災情報サ)
P233	震度分布から推定した1828年三条地震の断層位置とMw	° 菅原正晴・徳光亮一(東電設計)・植竹富一(東京電力)
P234	2003年7月26日宮城県北部の地震が誘発した地すべり分布の特徴	° 金 幸隆(東大地震研)
P235	Detailed image of seismic activity along the Atotsugawa fault, by precise hypocenter relocation	° Bogdan ENESCU・伊藤潔・和田博夫・大見士朗・澁谷拓郎(京大防災研)
P236	跡津川断層クリープ域におけるNIED活断層掘削—断層破砕帯コアの地質, 鉱物, 化学分析—	° 松田達生(防災科研)・小村健太郎(防災科研)・山田隆二(防災科研)・田中秀実(東京大学)・島田耕史(サイクル開発機構)・大谷具幸(岐阜大)・小林健太(新潟大)
P237	跡津川断層クリープ域における断層破砕帯のアパタイト・ジルコンフィッション・トラック年代測定	° 山田隆二・松田達生・溝口一生・小村健太郎(防災科研)
P238	稠密TDEM探査によって推定された跡津川断層クリープ域の浅部比抵抗構造(2)	° 山下太(防災科研)・久保篤規(高知大)・小村健太郎・山田隆二(防災科研)
P239	地表地震断層およびこれに伴う地表変形による起震断層の推定に関する検討	° 北田奈緒子・岩城啓美・伊藤浩子(地盤研究財団)・金谷賢生・堀江正人・両角浩典(関西電力)
P240	地表地震断層を伴わない地震の震源近傍の重力異常に関する予察的検討	° 井上直人(京大・理)・岩城啓美・伊藤浩子・北田奈緒子(地盤研究財団)・竹村恵二(京大・地熱)・金谷賢生・堀江正人・両角浩典(関西電力)

津波

P241	津波の高さと波形を用いた震源インバージョン	° 横田崇(気象庁)・上総周平(内閣府)・根本信・増田徹(応用地質)
------	-----------------------	------------------------------------

テクトニクス

P242	地震波トモグラフィーと弾性波速度測定実験から推定される東北日本地殻深部の岩石学的解釈	° 西本壮志・石川正弘・有馬眞(横浜国大院環境情報)・吉田武義(東北大院理)
P243	海嶺の地形断面に基づく日本海東縁部の震源断層の検討	° 青柳 恭平・阿部 信太郎(電力中央研究所)
P244	あり得るフィリピン海プレートの広域応力場の認識とその重要性	° 久保篤規(高知大・理地震)

地球及び惑星の深部構造と物性

P245	マンツルS波グローバルトモグラフィーとスラブ、プルームのイメージ	° 出原光暉・趙大鵬(愛媛大)
P246	スタグナントスラブの数値シミュレーション	° 多川道雄・中久喜伴益・田島文子(広島大・院理)
P247	紀伊半島南東沖の地震で観測されたScSp変換波による太平洋スラブの形状の推定	° 関根秀太郎・小原一成(防災科研)
P248	伸縮計で記録された2004年12月26日スマトラ島沖地震による超長周期自由振動	° 小巻あずみ・川崎一朗・森井亙・柳谷俊(京大防災研)・加藤護(京大人・環)・廣瀬一聖・加納靖之(京大防災研)
P249	部分熔融試料を用いた広帯域微小周期変形実験装置の開発:地震波減衰へのアプローチ	° 藤澤和浩・武井康子(東大地震研)
P250	日本列島下部地殻の温度変化に伴う弾性波速度不均質構造の推定:弾性波速度測定実験結果のGISによる視覚化	° 河野養生・石川正弘・有馬眞(横浜国立大学)

学校教育と知識普及

P251	なぜ 天災は忘れられるのか? - 震災の体験を伝える方策を探る	° 武村雅之(鹿島小堀研)
P252	高校生の地震に関する意識調査~神戸市の場合その2~	° 数越達也・平川絵理・中川文・溝上晶子・加藤満(須磨友が丘高)